

第5章 居宅サービス未利用者調査

1 対象者についての基本的事項

(1) 記入者

ア 記入者

表 4-1 記入者

(%)

調査数	宛名のご本人	ご家族	その他	無回答
538	305	201	6	28
100.0	56.6	37.3	1.0	5.1

アンケートの回答者は、「宛名のご本人」56.6%に対し、「ご家族」が37.3%となっている。

イ 本人が回答できない理由

表 4-2 本人が回答できない理由

(%)

調査数	病院に入院中	(介護保険施設に入所 入院)中	病气やけが	物が忘れがあり、 時々難しい、 意志疎通	が痴ほうのため 意志疎通が いつも難しい	障害(身体障害、 知的障害など)	別居・転居	答えたくない	その他	無回答
206	81	8	8	35	26	27	1	6	11	4
100.0	39.2	3.7	4.1	17.2	12.5	12.9	0.3	3.0	5.5	1.7

本人が回答できない理由としては、「病院に入院中」が39.2%と多く、そのほかは「物忘れがあり、意志疎通が時々難しい」17.2%、「障害(身体障害、知的障害など)」12.9%、「痴ほうのため意志疎通がいつも難しい」12.5%となっている。

(2) 年齢別・性別構成

図 4-1 年齢構成

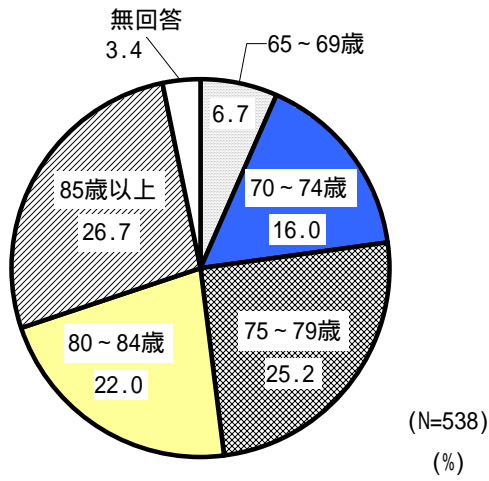
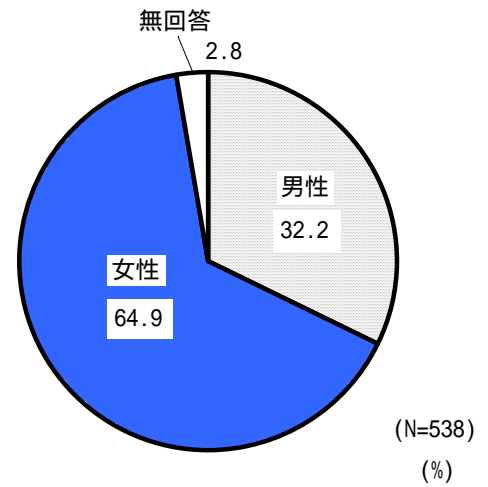


図 4-2 性別構成



調査対象者の年齢構成は、「85歳以上」が26.7%と最も多く、次いで「80~84歳」(22.0%)、「75~79歳」(25.2%)となっている。

性別構成については、男性32.2%、女性64.9%と、女性の方が30%以上多くなっている。

(3) 居住地域

ア 居住地区

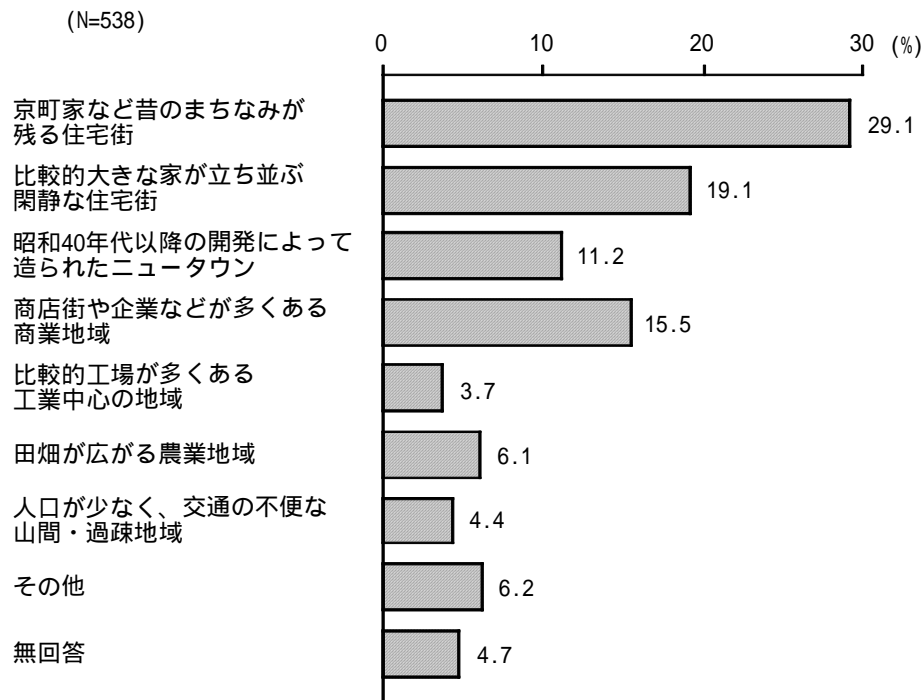
表 4-3 居住地区

調査数	居住地区 (%)														
	北区	上京区	左京区	中京区	東山区	山科区	下京区	南区	右京区(京北町を含む)	西京区	洛西支所	伏見区	深草支所	醍醐支所	無回答
538	51	46	75	33	20	46	25	39	60	34	2	83	4	11	8
100.0	9.5	8.6	14.0	6.2	3.7	8.5	4.7	7.3	11.1	6.2	0.4	15.4	0.8	2.0	1.6

居住地区は、「左京区」「右京区(京北町を含む)」「伏見区」の3区が10%を超えている。

イ 地域の特性

図 4-3 地域の特性

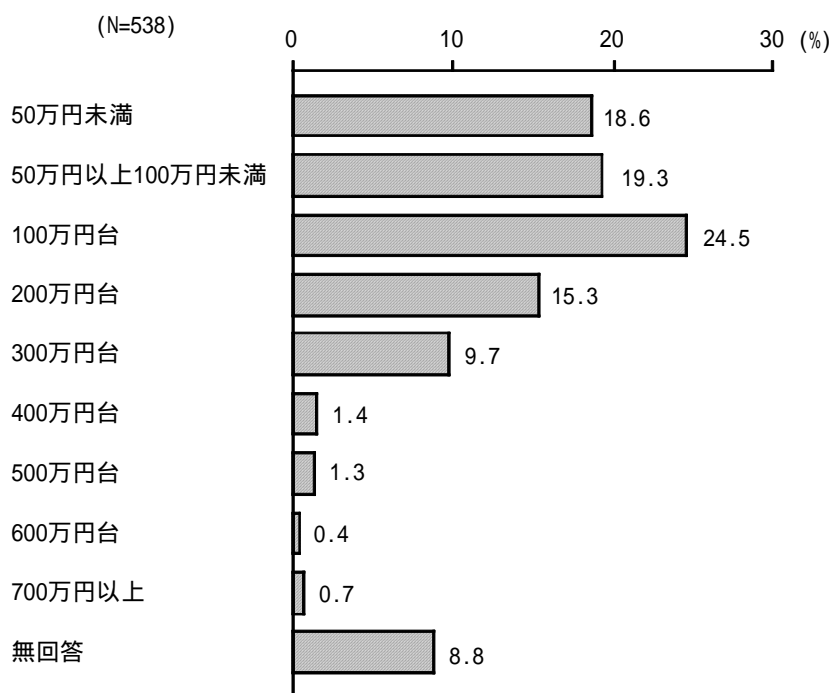


地域の特性については、「京町家など昔のまちなみが残る住宅街」が 29.1%と最も多く、次いで「比較的大きな家が立ち並ぶ閑静な住宅街」(19.1%)、「商店街や企業などが多くある商業地域」(15.5%)となっている。

(4) 収入

ア 本人の年収

図 4-4 本人の年収

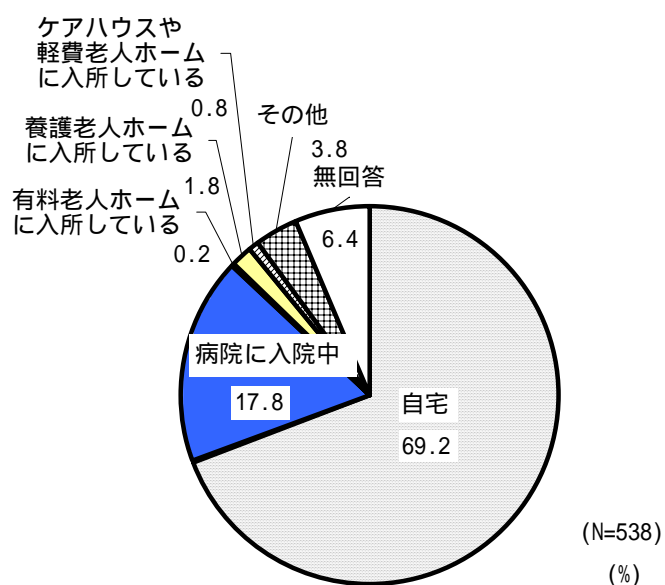


調査対象者本人の年収は、「100万円台」が24.5%と最も多く、次いで「50万円以上100万円未満」(19.3%)、「50万円未満」(18.6%)となっている。

(5) 住居形態

ア 現在の居場所

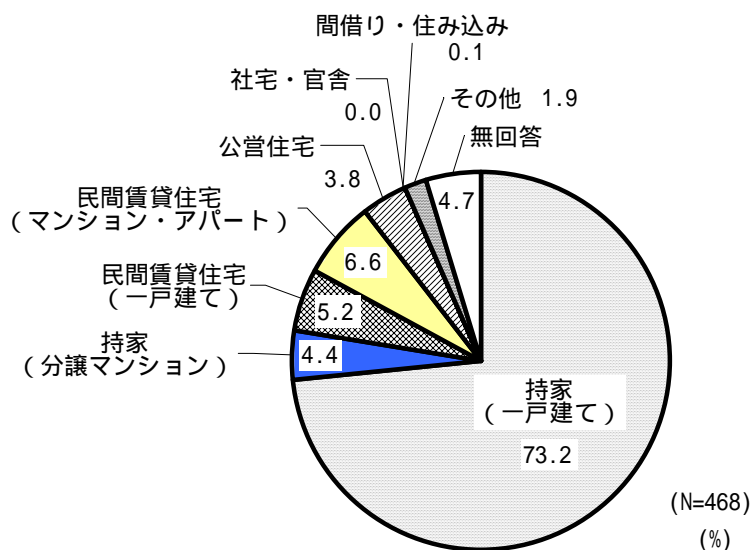
図 4-5 現在の居場所



現在の居場所としては、「自宅」が69.2%と最も多く、次いで「病院に入院中」が17.8%となっている。

イ 住まいの形態

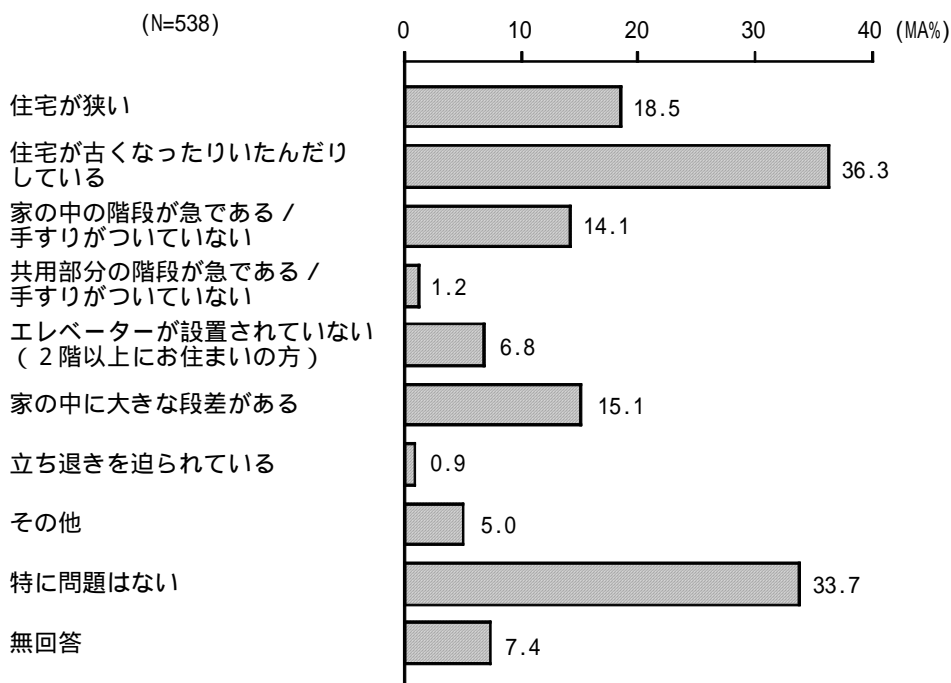
図 4-6 住まいの形態



自宅または入院中の人の住まいの形態は、「持家(一戸建て)」が73.2%と圧倒的に多く、そのほかは「民間賃貸住宅(マンション・アパート)」が6.6%、「民間賃貸住宅(一戸建て)」が5.2%などとなっている。

ウ 住まいの状況

図 4-7 住まいの状況



住まいの状況については、「住宅が古くなったりいたんだりしている」が36.3%と最も多く、次いで「住宅が狭い」(18.5%)、「家の中に大きな段差がある」(15.1%)となっている。

表 4-4 住まいの形態別 住まいの状況

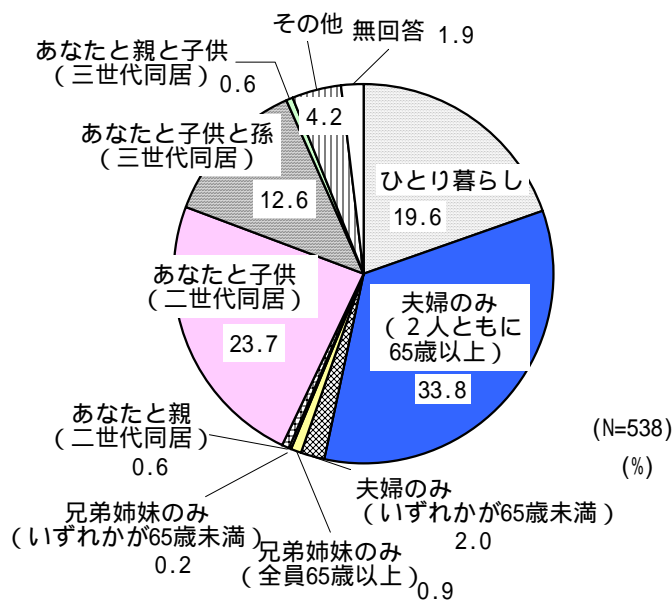
	調査数 (N)	住宅が狭い	住宅が古くなったりい ただりしている	なる家の い/中 すの 階が ついで いあ	いある ない/部 手分の 階が ついで いあ	にれエ おてい まの まいの 方(2 階以 上さ	ある家 の中 に大 きな 段差 が	る立 ち退 きを 迫ら れて い	その他	特に 問題 はな い	無回 答
持家(一戸建て)	343	18.4	40.9	17.0	0.2	6.3	16.9	0.2	3.1	35.1	3.1
持家(分譲マンション)	21	9.9	7.4	8.7	8.1	8.7	5.1	-	6.9	61.5	4.4
民間賃貸住宅(一戸建て)	24	24.6	63.6	14.2	-	-	26.4	17.4	-	17.7	3.4
民間賃貸住宅(マンション・アパートなど)	31	27.8	38.4	10.1	2.0	11.8	7.9	-	4.1	31.4	7.6
公営住宅	18	22.3	16.4	-	-	6.6	11.3	-	3.6	35.3	17.7
社宅・官舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
間借り・住み込み	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
その他	9	34.6	63.9	26.3	-	34.6	34.6	-	-	9.2	19.9
無回答	22	2.8	24.7	2.8	-	3.7	2.8	-	3.7	52.4	19.2
合計	468	18.6	39.1	14.9	0.6	6.9	15.7	1.0	3.1	35.5	5.1

住まいの形態別にみると、民間賃貸住宅(一戸建て)では、「住宅が古くなったりいただりしている」が 63.6%と高く、「立ち退きを迫られている」も 17.4%みられる。持家(分譲マンション)では、「特に問題はない」が 61.5%と、他の住居形態と比べて高くなっている。

(6) 世帯の状況

ア 世帯構成

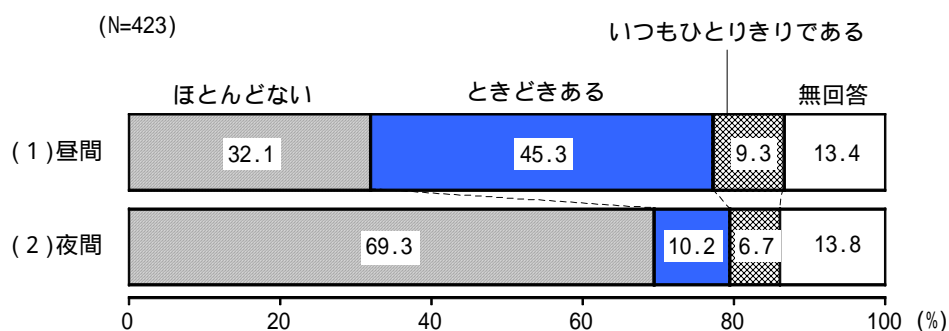
図 4-8 世帯構成



世帯構成は、「夫婦のみ(2人とも65歳以上)」が 33.8%と最も多く、次いで「あなたと子供(二世帯同居)」(23.7%)、「ひとり暮らし」(19.6%)、「あなたと子供と孫(三世帯同居)」(12.6%)となっている。

イ 昼間独居等の状況

図 4-9 昼間独居等の状況



家族と同居している高齢者のうち、昼間、ひとりきりになることがある人は54.6%を占め、「いつもひとりきりである」は9.3%となっている。

同様に、夜間、ひとりきりになることがある人は16.9%であり、「いつもひとりきりである」は6.7%となっている。

表 4-5 要介護度別 家族介護力

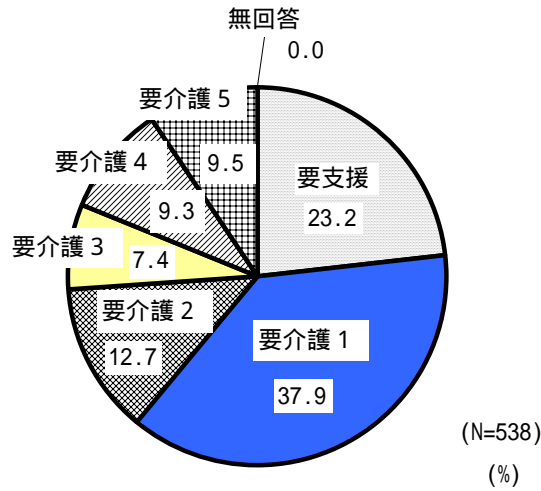
	調査数 (N)	ひとり暮らし	夫婦のみ世帯	と本人と兄弟姉妹/本人	なが、子ども・孫と同居だが、ひとりで居る	子ども・孫と同居だが、ひとりきりになる	無回答
要支援	125	21.7	37.0	1.4	23.2	10.9	5.8
要介護1	204	22.0	41.5	1.2	20.7	9.8	4.9
要介護2	68	16.9	34.9	1.2	25.3	13.3	8.4
要介護3	40	19.7	26.3	2.6	21.1	18.4	11.8
要介護4	50	13.9	26.6	2.5	25.3	17.7	13.9
要介護5	51	13.8	27.5	3.8	21.3	21.3	12.5
無回答	-	-	-	-	-	-	-
合計	538	19.6	35.8	1.7	22.4	12.9	7.6

要介護度別にみると、「ひとり暮らし」及び「夫婦のみ世帯」の割合は、要支援及び要介護1で高くなっている。一方、「子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある」の割合は、要介護度に関わらず20%台みられる。

(7) 要介護度とその変化

ア 要介護度

図 4-10 要介護度



調査対象者の要介護度は、「要介護1」が37.9%と最も多く、次いで「要支援」(23.2%)、「要介護2」(12.7%)、「要介護5」(9.5%)、「要介護4」(9.3%)、「要介護3」(7.4%)となっている。

表 4-6 性・年齢別 要介護度

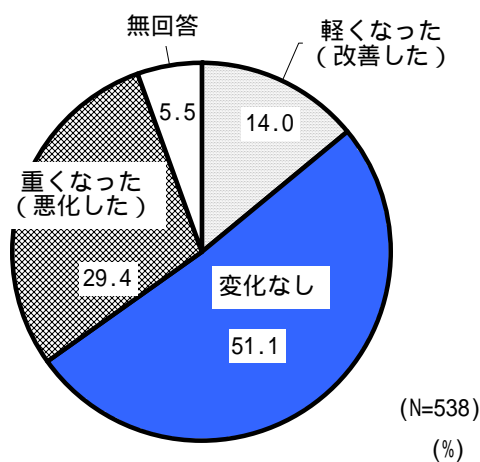
		(%)						
	調査数 (N)	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
男性(全体)	173	21.4	37.3	14.3	5.8	10.6	10.7	-
65~69歳	20	13.6	37.3	24.8	5.3	9.5	9.6	-
70~74歳	40	36.3	24.9	10.3	7.9	12.6	8.0	-
75~79歳	42	10.7	52.7	13.6	5.0	6.0	12.0	-
80~84歳	32	25.9	31.5	15.7	6.7	8.0	12.1	-
85歳以上	38	19.0	39.0	13.0	4.1	14.9	10.0	-
女性(全体)	350	23.9	37.7	12.0	8.3	8.9	9.3	-
65~69歳	16	17.0	31.0	10.3	9.9	7.9	23.9	-
70~74歳	46	31.4	26.9	14.3	6.8	12.3	8.3	-
75~79歳	93	25.3	53.4	8.0	5.1	4.8	3.4	-
80~84歳	87	26.1	42.9	7.6	6.7	7.3	9.5	-
85歳以上	106	17.2	25.9	18.7	12.9	12.6	12.7	-
無回答	15	29.6	48.6	10.8	6.9	4.1	-	-
合計	538	23.2	37.9	12.7	7.4	9.3	9.5	-

男性全体と女性全体の比較では、要介護度の分布に大きな差がみられない。

性・年齢別にみると、「要支援」の割合は男女とも70~74歳で30%台、「要介護1」の割合は男女とも75~79歳で50%強と高くなっている。

イ 要介護度の変化

図 4-11 要介護度の変化



要介護度が以前に比べて「軽くなった (改善した)」は 14.0% , それに対して「重くなった (悪化した)」は 29.4%と多くなっている。

表 4-7 要介護度別 要介護度の変化

	調査数 (N)	軽くなった (改善)	変化なし	重くなった (悪化)	無回答
要支援	125	16.7	55.8	15.2	12.3
要介護 1	204	19.5	56.1	20.7	3.7
要介護 2	68	9.6	55.4	31.3	3.6
要介護 3	40	7.9	36.8	53.9	1.3
要介護 4	50	7.6	35.4	54.4	2.5
要介護 5	51	2.5	40.0	52.5	5.0
無回答	-	-	-	-	-
合計	538	14.0	51.1	29.4	5.5

要介護度別にみると、「軽くなった (改善した)」割合は軽度の人ほど高く、要支援で 16.7% , 要介護 1 で 19.5%となっている。一方、要介護 3 以上では、50%強が「重くなった (悪化した)」と回答している。

表 4-8 この1年間に転倒してケガをした経験別 要介護度の変化

		(%)			
	調査数 (N)	(軽くなった) (改善した)	変化なし	(悪くなった) (悪化した)	無回答
ある	188	15.9	44.8	34.3	4.9
ない	338	13.2	54.5	26.8	5.5
無回答	12	6.7	53.8	25.6	14.0
合計	538	14.0	51.1	29.4	5.5

最近1年間の転倒経験の有無別にみると、「重くなった(悪化した)」割合は、転倒経験のない人 26.8%に対し、転倒経験のある人では 34.3%と高くなっている。

表 4-9 近所付き合いの程度別 要介護度の変化

		(%)			
	調査数 (N)	(軽くなった) (改善した)	変化なし	(重くなった) (悪化した)	無回答
困った時に助け合う	65	12.0	58.4	24.0	5.6
世間話や立ち話をする程度	149	19.7	53.5	17.9	8.9
顔を合わせばあいさつする程度	207	13.9	52.6	28.3	5.2
付き合いをしていない	84	7.1	44.1	48.1	0.8
無回答	33	10.7	33.6	51.3	4.4
合計	538	14.0	51.1	29.4	5.5

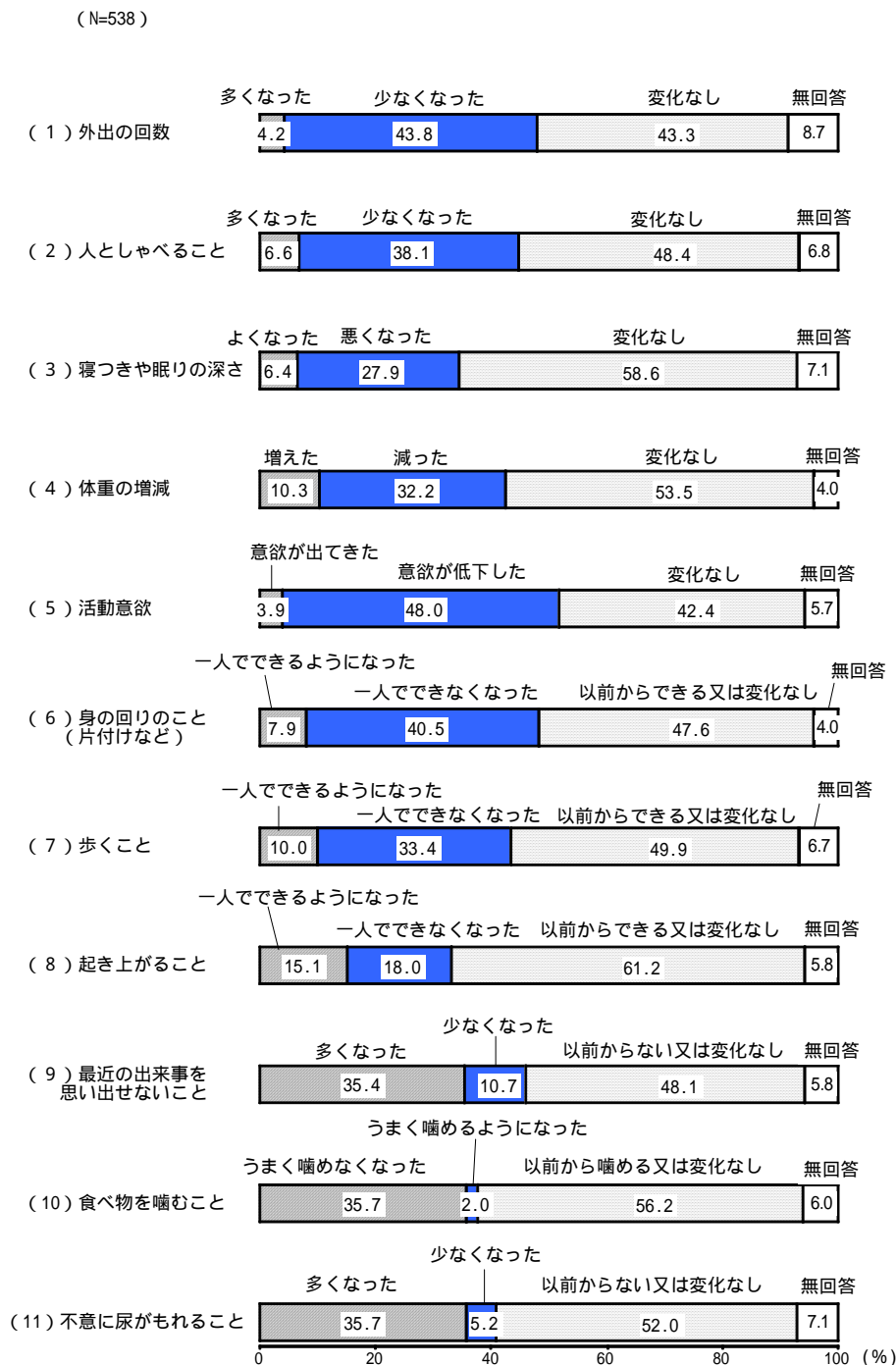
近所付き合いの程度別にみると、近所付き合いの希薄な人では悪化傾向が強く、「付き合いをしていない」人では「重くなった(悪化した)」割合が 48.1%となっている。

2 身体・生活の状況について

(1) 最近半年間の心身の変化

ア 最近半年間の心身の変化

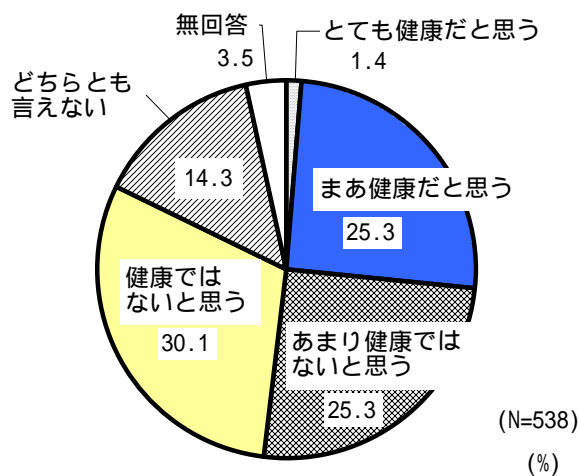
図 4-12 最近半年間の心身の変化



この半年間に心身の状態に変化が見られたかたずねたところ、『(3)寝つきや眠りの深さ』『(8)起き上がること』『(10)食べ物を嘔むこと』などでは「変化なし」が過半数を占めたが、『(5)活動意欲』をはじめ、『(1)外出の回数』『(6)身の回りのこと(片付けなど)』などでは、低下や悪化を表す回答が40%台と多くなっている。

イ 日ごろの健康状態

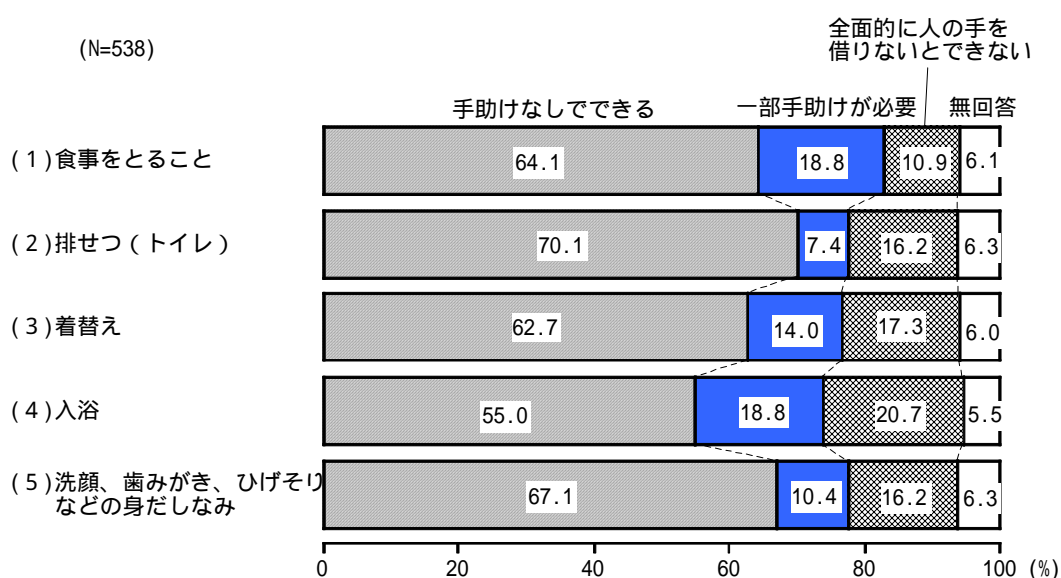
図 4-13 日ごろの健康状態



日ごろの健康状態については、『健康だと思う（計）』（「とても健康だと思う」に「まあ健康だと思う」を加えた割合）の 26.7% に対し、『健康ではないと思う（計）』（「健康ではないと思う」に「あまり健康ではないと思う」を加えた割合）が 55.4% と多くなっている。

(2) 日常生活動作（基本的 A D L）

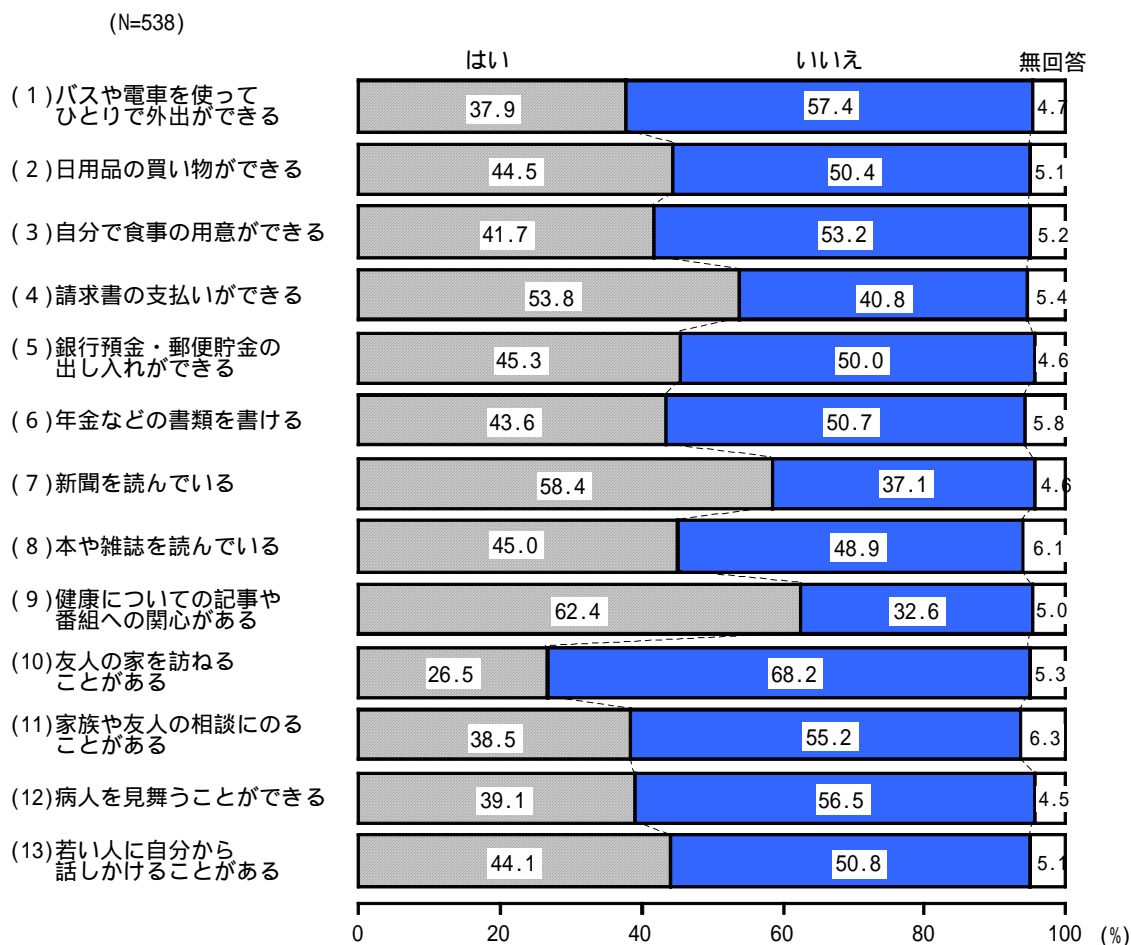
図 4-14 日常生活動作（基本的 A D L）



基本的な日常基本動作のうち、介助が必要な割合（「全面的に人の手を借りないとできない」に「一部手助けが必要」を加えた割合）が最も高いのは『(4)入浴』で 39.5% となっている。

(3) 老研式活動能力指標（高次ADL）

図 4-15 老研式活動能力指標（高次ADL）



高次の日常生活動作をみると、老研式活動能力指標の13項目中、『(7)新聞を読んでいる』『(9)健康についての記事や番組への関心がある』について「はい」が60%前後を占めるが、『(10)友人の家を訪ねることがある』では「いいえ」の割合が70%近くと高くなっている。

老研式活動能力指標総合点の平均は6.0点となっている。

表 4-10 要介護度別 老研式活動能力指標（高次 A D L）

	調査数 (N)	(%)					平均
		0 3 点	4 6 点	7 9 点	10 点 以上	無 回 答	
要支援	125	9.4	13.0	23.2	53.6	0.7	8.9
要介護 1	204	19.5	13.4	28.0	37.8	1.2	7.7
要介護 2	68	51.8	16.9	14.5	13.3	3.6	4.2
要介護 3	40	77.6	13.2	5.3	2.6	1.3	1.8
要介護 4	50	81.0	3.8	3.8	5.1	6.3	1.6
要介護 5	51	80.0	3.8	1.3	1.3	13.8	0.9
無回答	-	-	-	-	-	-	-
合計	538	37.0	11.9	18.7	29.2	3.1	6.0

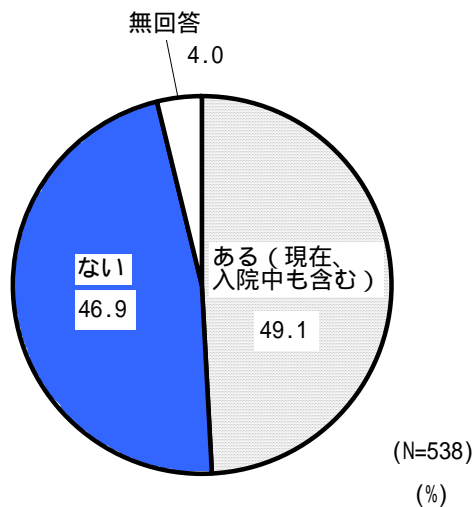
老研式活動能力指標総合点の分布を要介護度別にみると、「10 点以上」の割合は、要支援では 53.6%を占めるが、要介護 1 では 37.8%、要介護 2 では 13.3%へと減少し、要介護 3 以上では 5%に満たない。

総合点の平均は、要支援では 8.9 点、要介護 1 では 7.7 点となっており、要介護度が高くなるにつれて低下している。

(4) 入院経験と現在治療を受けている病気

ア この 1 年間に入院した経験

図 4-16 この 1 年間に入院した経験



この 1 年間に入院したことがある人は、現在入院中の人も含め 49.1%となっている。

イ 現在治療を受けている病気

表 4-11 現在治療を受けている病気

(MA%)

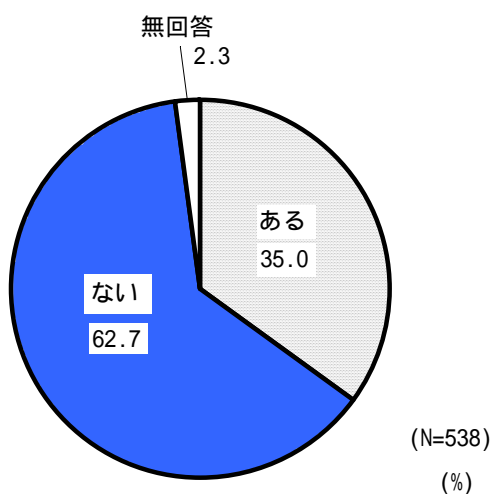
調査数	高血圧症	高脂血症	心臓病（心筋梗塞、狭心症など）	脳血管疾患（脳梗塞、脳出血など）	呼吸器系疾患（喘息、肺炎など）	結核	消化器系疾患	泌尿器系疾患	腎臓病	肝臓病	糖尿病	腰痛、膝痛などの病気	眼の病気	耳、鼻の病気	精神疾患	歯の病気	その他	特になし	無回答
538	212	43	148	99	59	4	81	66	28	29	75	205	148	51	38	101	106	13	15
100.0	39.5	8.0	27.4	18.4	11.0	0.7	15.0	12.3	5.1	5.3	13.9	38.0	27.5	9.5	7.1	18.7	19.7	2.5	2.8

現在治療を受けている病気としては、「高血圧症」が 39.5%と最も多く、次いで「腰痛、膝痛などの病気」(38.0%)、「眼の病気」(27.5%)、「心臓病（心筋梗塞、狭心症など）」(27.4%) などとなっている。

(5) 転倒経験

ア この1年間に転倒してケガをした経験

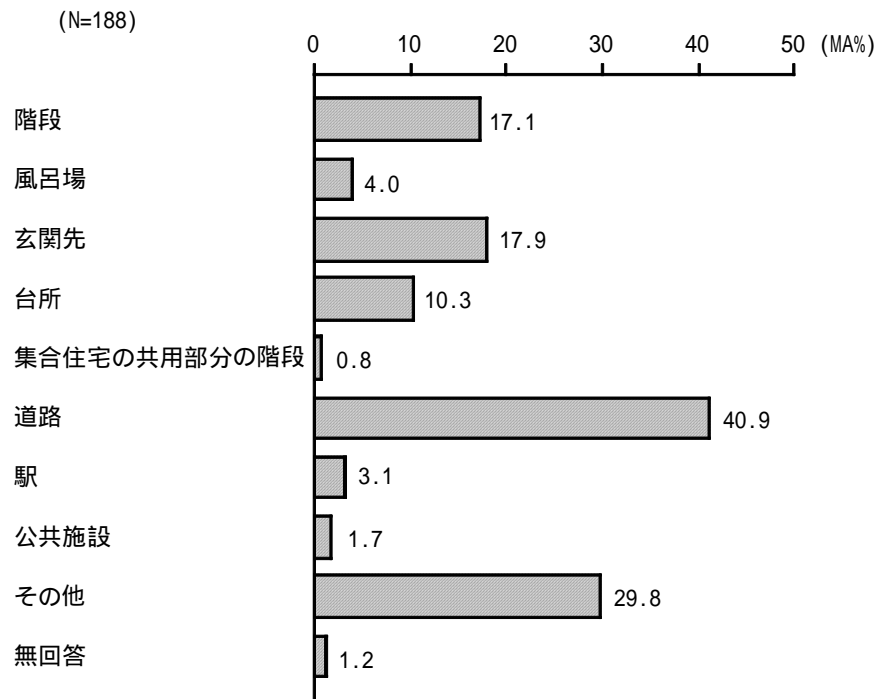
図 4-17 この1年間に転倒してケガをした経験



この1年間に転倒してケガをしたことがある人は、35.0%となっている。

イ 転倒した場所

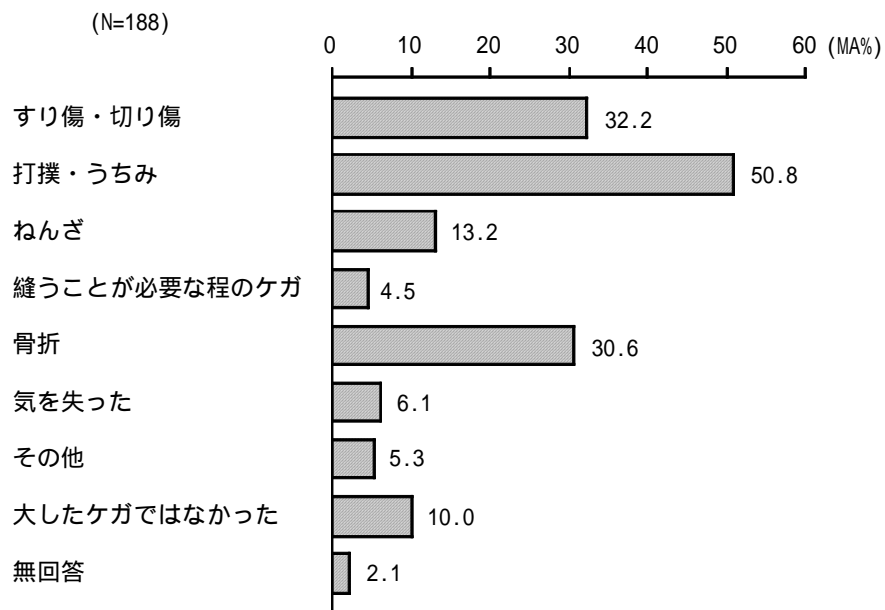
図 4-18 転倒した場所



転倒した場所は、「道路」が40.9%と最も多く、次いで「玄関先」(17.9%)、「階段」(17.1%)となっている。

ウ 転倒したときのケガの程度

図 4-19 転んだときのケガの程度

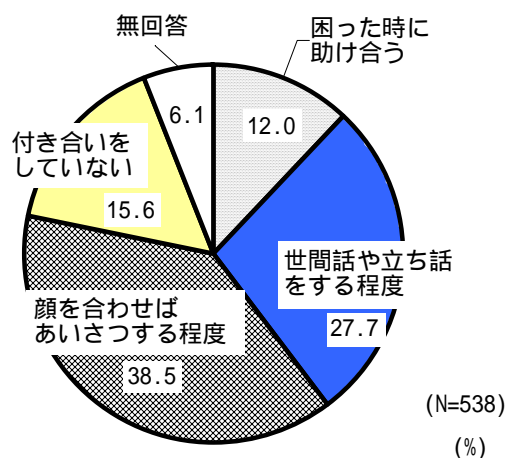


転倒したときのケガの程度をみると、「打撲・うちみ」が50.8%と最も多く、次いで「すり傷・切り傷」(32.2%)、「骨折」(30.6%)となっている。

(6) 近所付き合いと社会参加・生きがい活動の状況

ア 近所付き合いの程度

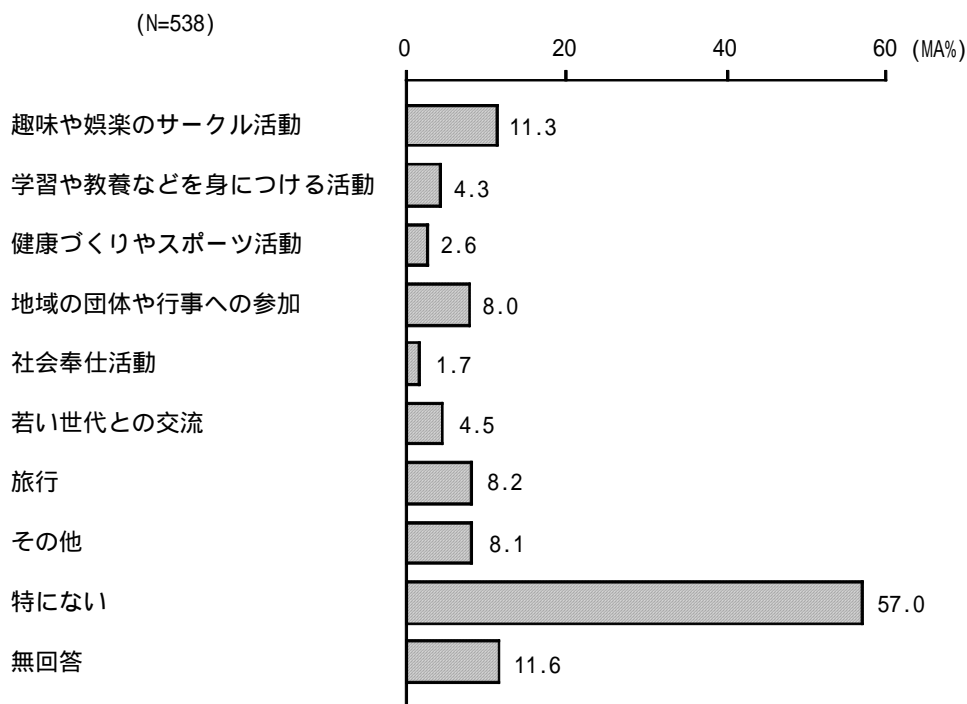
図 4-20 近所付き合いの程度



近所付き合いの程度は、「顔を合わせばあいさつする程度」が 38.5%と最も多く、次いで「世間話や立ち話をする程度」(27.7%)、「付き合いをしていない」(15.6%)であり、「困った時に助け合う」は 12.0%となっている。

イ 生きがい活動への参加状況

図 4-21 生きがい活動への参加状況

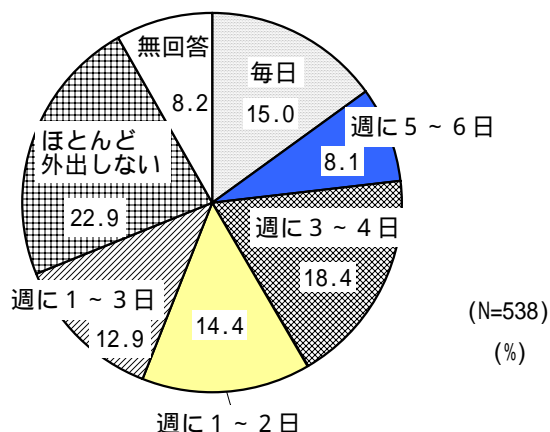


現在参加している生きがい活動については、「特にない」が 57.0%を占めている。参加している活動としては、「趣味や娯楽のサークル活動」が 11.3%、「旅行」が 8.2%などとなっている。

(7) 外出の状況

ア 外出の頻度

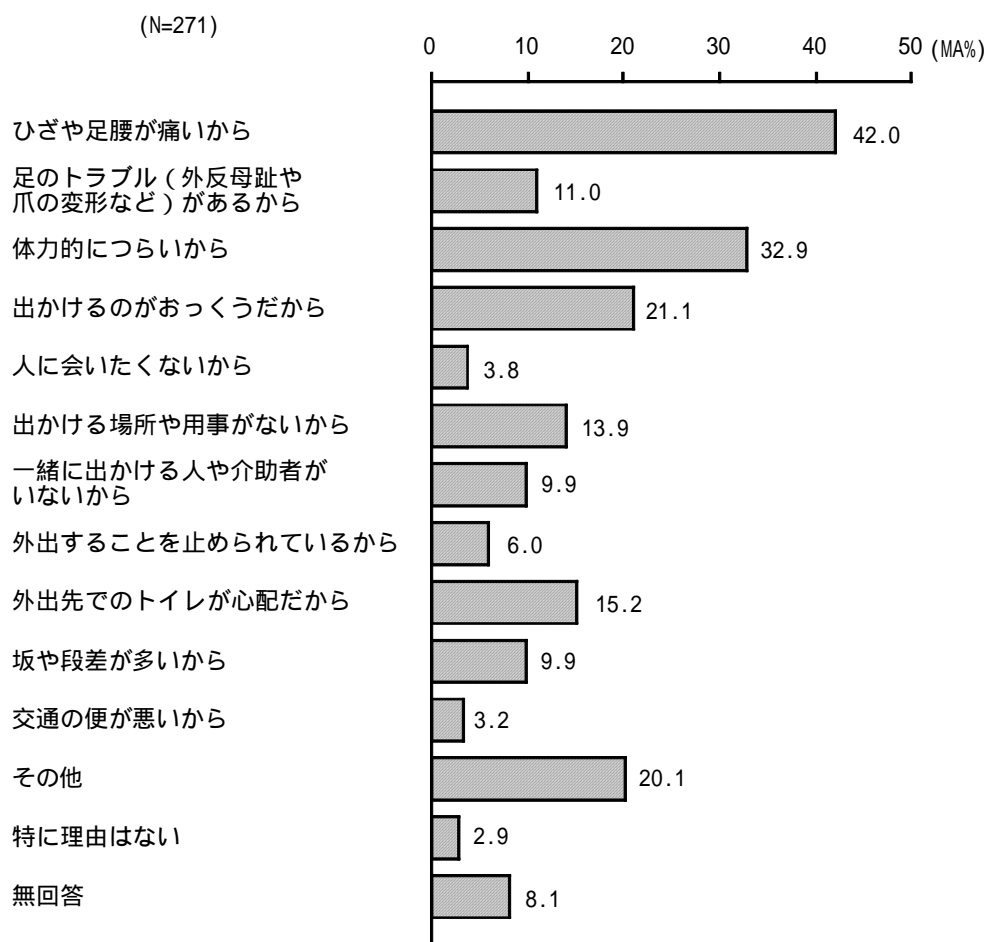
図 4-22 外出の頻度



外出する頻度をみると、「ほとんど外出しない」が 22.9%と最も多く、次いで「週に3~4日」(18.4%)、「毎日」(15.0%)、「週に1~2日」(14.4%)となっている。

イ 外出を控える理由

図 4-23 外出を控える理由

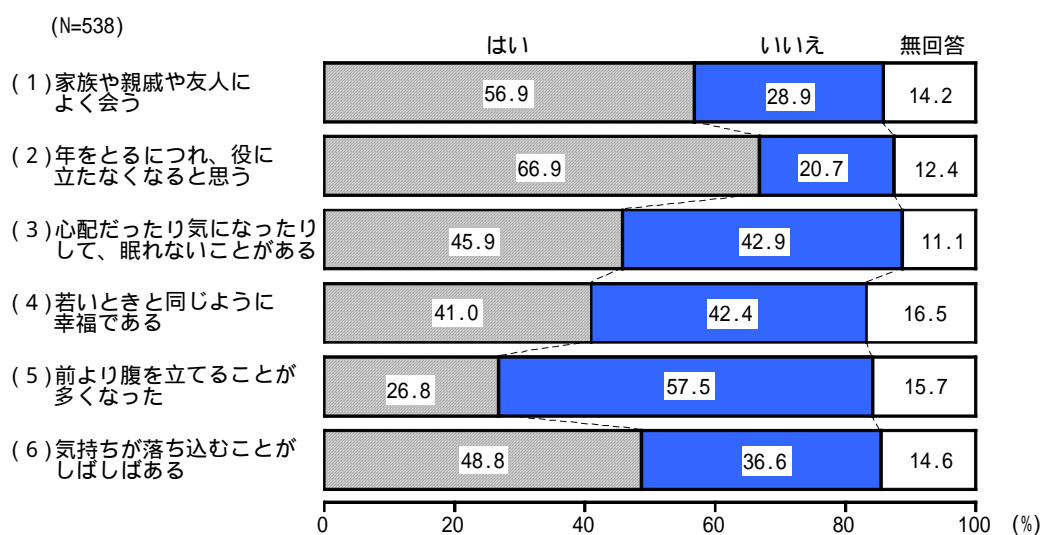


外出頻度が週に1～2日以下の人に外出を控える理由をたずねたところ、「ひざや足腰が痛いから」が42.0%と最も多く、次いで「体力的につらいから」(32.9%)、「出かけるのがおっくうだから」(21.1%)、「外出先でのトイレが心配だから」(15.2%)などとなっている。

(8) 主観的幸福感

ア 主観的幸福感（モラルール・スケール）

図 4-24 主観的幸福感（モラルール・スケール）



『(1) 家族や親戚や友人によく会う』では「はい」が56.9%と過半数を占めるが、『(4) 若いときと同じように幸福である』については41.0%と少なくなっている。

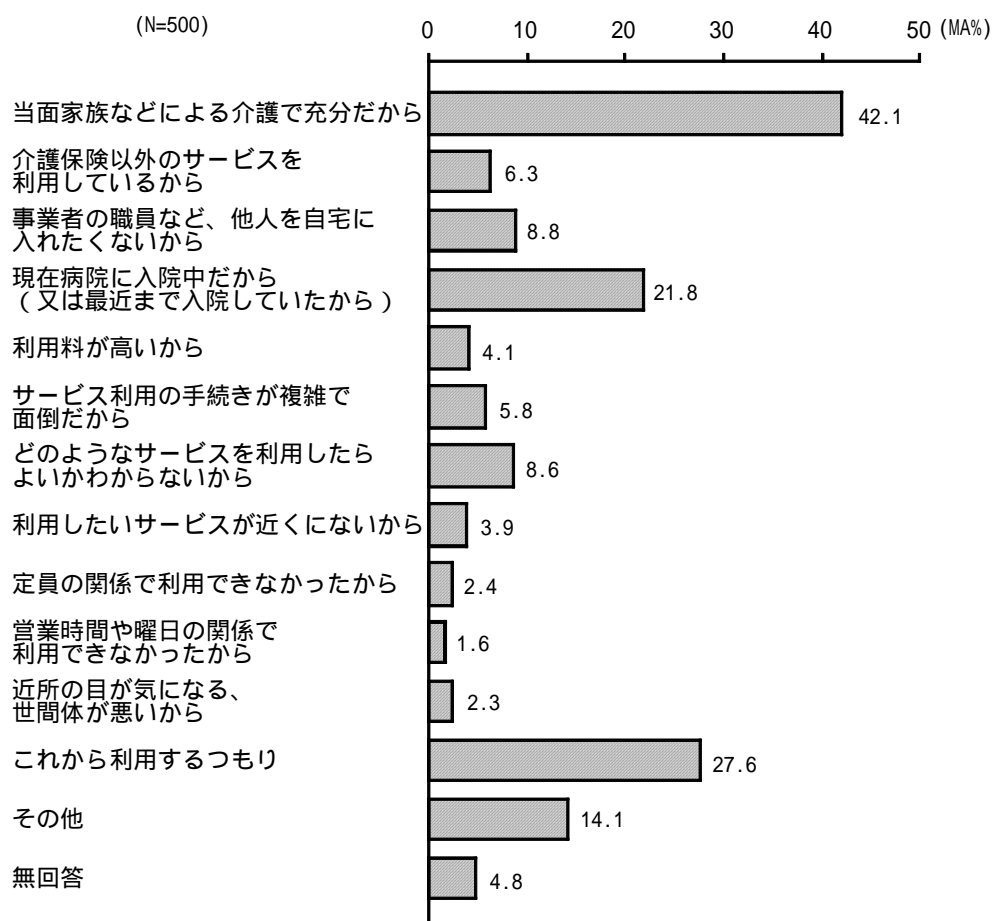
また、『(5) 前より腹を立てることが多くなった』では「いいえ」が57.5%を占める一方、『(2) 年をとるにつれ、役に立たなくなると思う』については20.7%と少なくなっている。

3 介護保険サービスの利用状況

(1) 介護保険サービスの利用状況

ア 介護保険サービスを利用していない理由

図 4-25 介護保険サービスを利用していない理由



介護保険サービスを利用していない理由は、「当面家族などによる介護で充分だから」が 42.1%と最も多く、次いで「これから利用するつもり」(27.6%)、「現在病院に入院中だから (又は最近まで入院していたから)」(21.8%)となっている。

表 4 - 12 要介護度別 介護保険サービスを利用していない理由

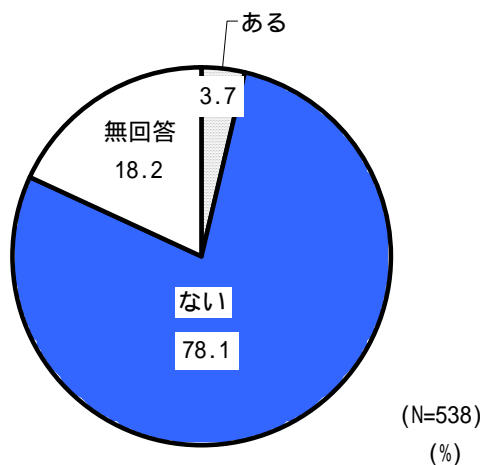
	調査数 (N)	当面家族などによる介護で充分だから	介護保険以外のサービスから	事業者の職員など、他人を自宅に入れたくないから	現在病院に入院中だから (又は最近まで入院していたから)	利用料が高いから	サービス利用の手続きが複雑で面倒だから	利用しづらいから	どのようないサービスかわからないから	近くはないから	定員の関係で利用できないから	営業時間や曜日の関係で利用できなかったから	近所の目が気になる、世間体が悪いから	これから利用するつもり	その他	無回答
要支援	122	45.5	6.0	11.2	5.2	3.0	9.7	10.4	2.2	-	-	1.5	34.3	16.4	6.0	
要介護 1	191	44.2	7.8	9.1	9.1	3.9	5.2	9.1	5.2	1.3	2.6	3.9	33.8	15.6	5.2	
要介護 2	61	59.5	2.7	8.1	9.5	4.1	8.1	14.9	8.1	2.7	2.7	1.4	23.0	16.2	8.1	
要介護 3	37	41.4	-	10.0	40.0	11.4	4.3	7.1	-	5.7	1.4	1.4	18.6	5.7	2.9	
要介護 4	44	27.1	7.1	8.6	67.1	4.3	1.4	2.9	2.9	8.6	1.4	-	18.6	11.4	-	
要介護 5	45	15.7	10.0	1.4	78.6	1.4	-	-	1.4	4.3	-	1.4	5.7	8.6	1.4	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	500	42.1	6.3	8.8	21.8	4.1	5.8	8.6	3.9	2.4	1.6	2.3	27.6	14.1	4.8	

要介護度別にみると、要支援から要介護 3 までの人では「当面家族などによる介護で充分だから」が最も多く、特に要介護 2 では 59.5% と、他の要介護度の人と比べて高くなっている。一方、要介護 4 及び 5 の人では「現在病院に入院中だから (又は最近まで入院していたから)」が最も多く、要介護 5 では 80% 近くとなっている。

(2) 障害や疾患等を理由にサービス利用を断られた経験

ア 障害や疾患等を理由に利用を断られた経験の有無

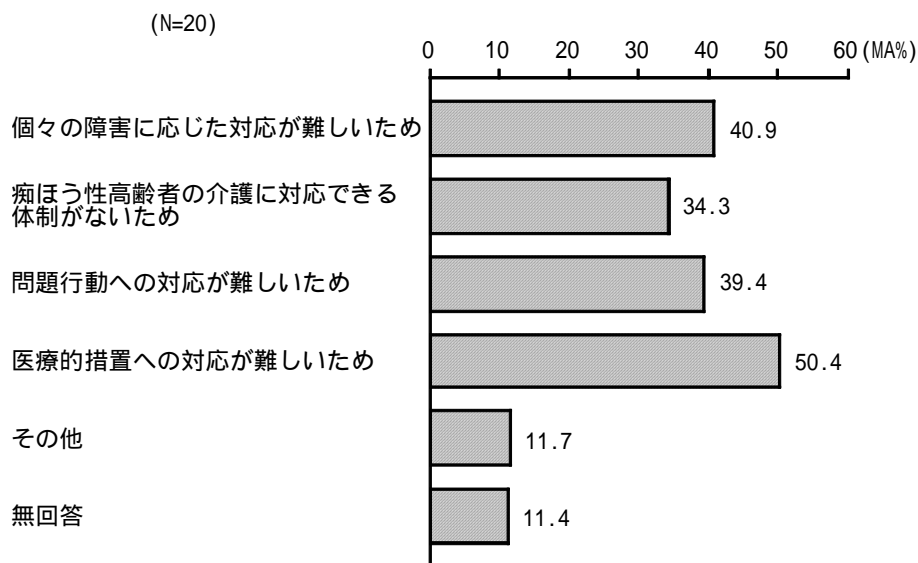
図 4-26 障害や疾患等を理由に利用を断られた経験の有無



障害や疾患等を理由に事業者から介護保険サービスの利用を断られたことがある人は、3.7%となっている。

イ 利用を断られた主な理由

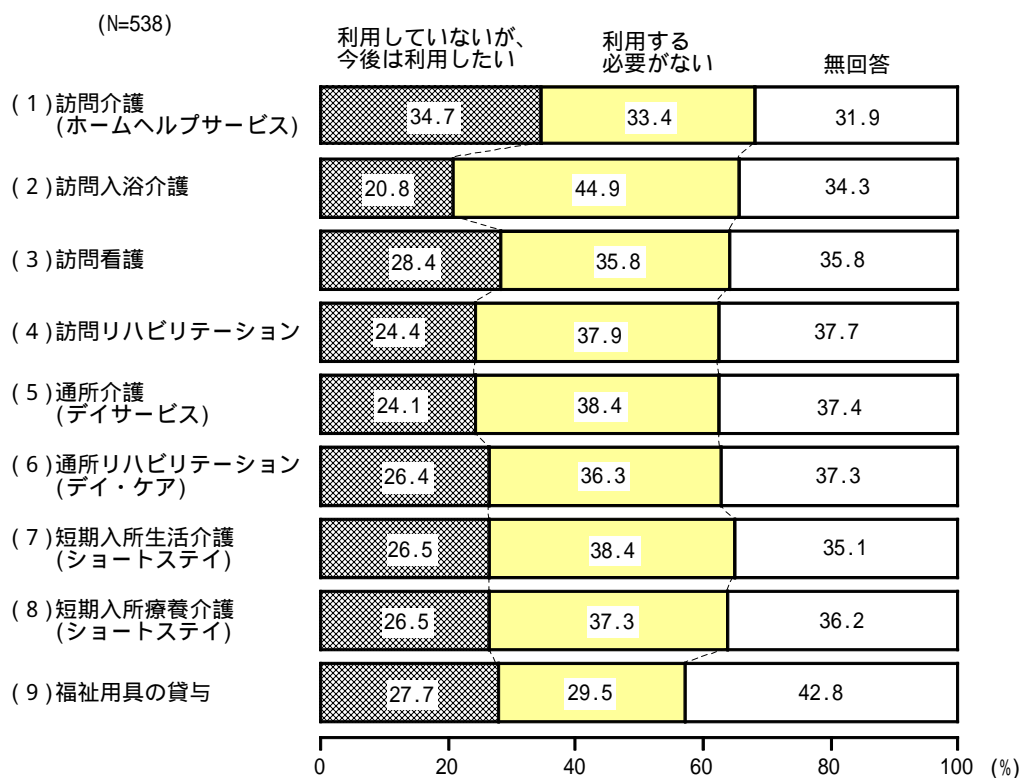
図 4-27 利用を断られた主な理由



サービスの利用を断られた主な理由としては、「医療的措置への対応が難しいため」が 50.4%、「個々の障害に応じた対応が難しいため」が 40.9%、「問題行動への対応が難しいため」が 39.4%、「痴ほう性高齢者の介護に対応できる体制がないため」が 34.3% となっている。

(3) 居宅サービスの利用状況・利用意向

図 4-28 居宅サービスの利用状況・利用意向

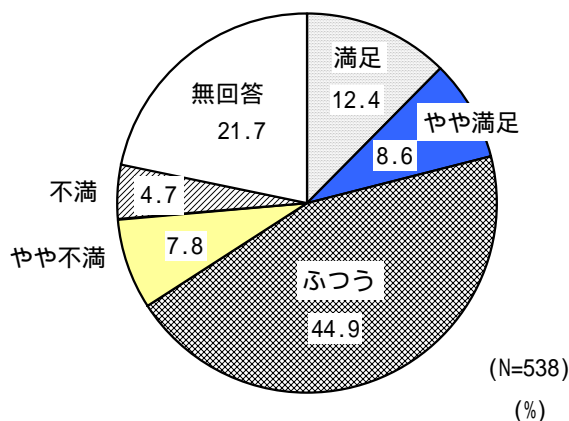


居宅サービスの今後の利用希望については、『(1)訪問介護(ホームヘルプサービス)』が34.7%と最も多く、全項目について20%以上となっている。

(4) 事業者やサービス内容に関する情報への希望

ア 事業者やサービス内容に関する情報への満足度

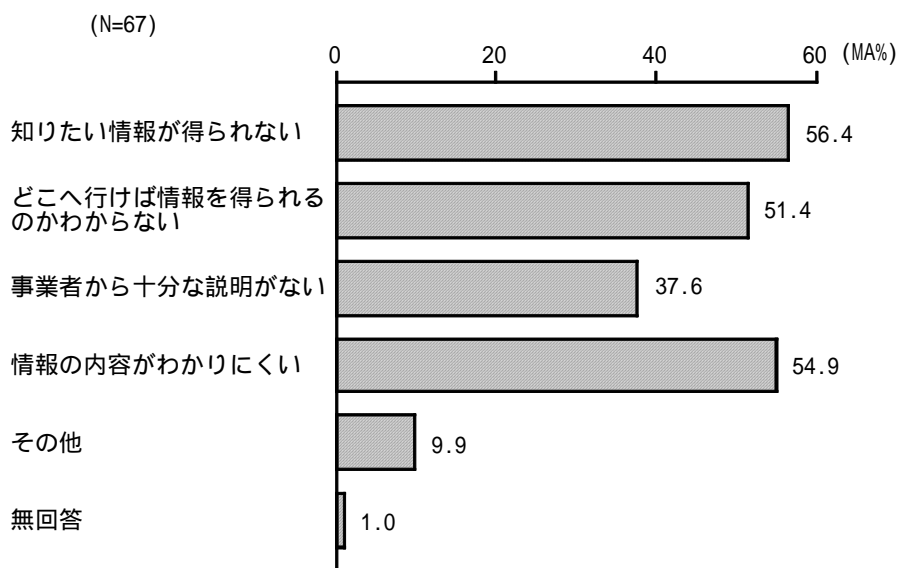
図 4-29 事業者やサービス内容に関する情報への満足度



事業者やサービス内容に関する情報入手について満足している人は、「やや満足」を合わせて全体の21.0%となっている。

イ 不満を感じている点

図 4-30 不満を感じている点

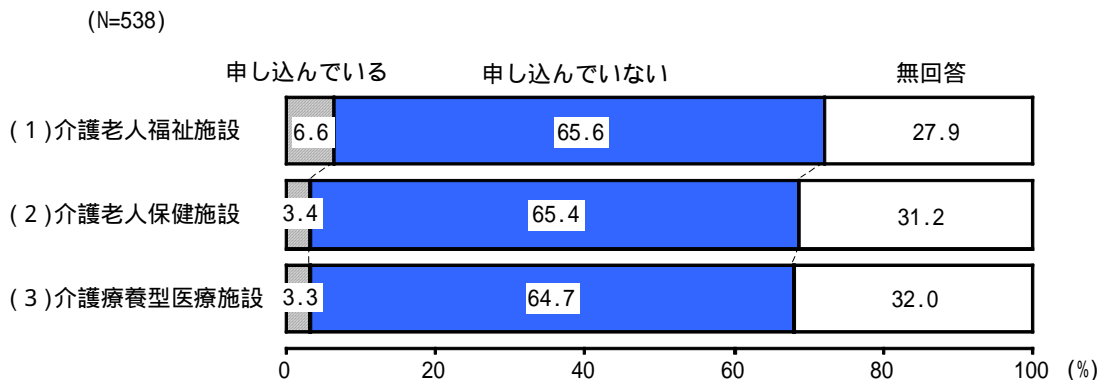


不満を感じている点についてみると、「知りたい情報が得られない」「どこへ行けば情報を得られるのかわからない」「情報の内容がわかりにくい」の3つの項目で50%を超えている。

(5) 介護保険施設への入所申込状況

ア 施設への申込みの有無

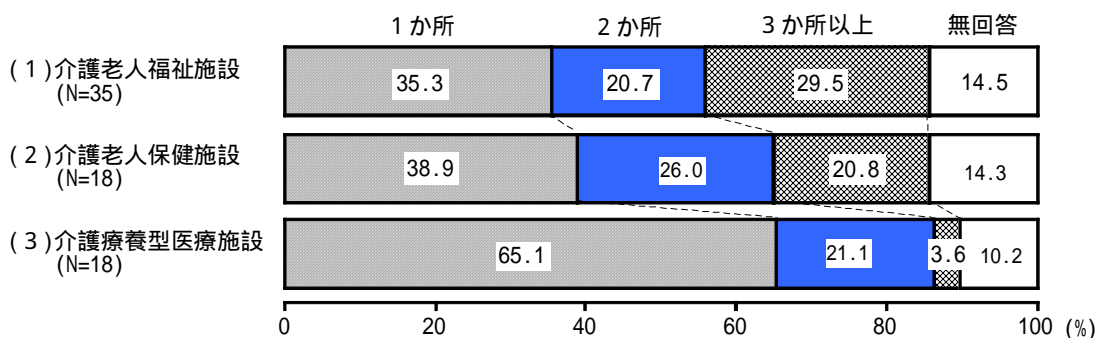
図 4-31 施設への申込みの有無



介護保険施設への申込み状況を見ると、「申し込んでいる」は、介護老人福祉施設が 6.6%、介護老人保健施設が 3.4%、介護療養型医療施設が 3.3%となっている。

イ 申込み施設数

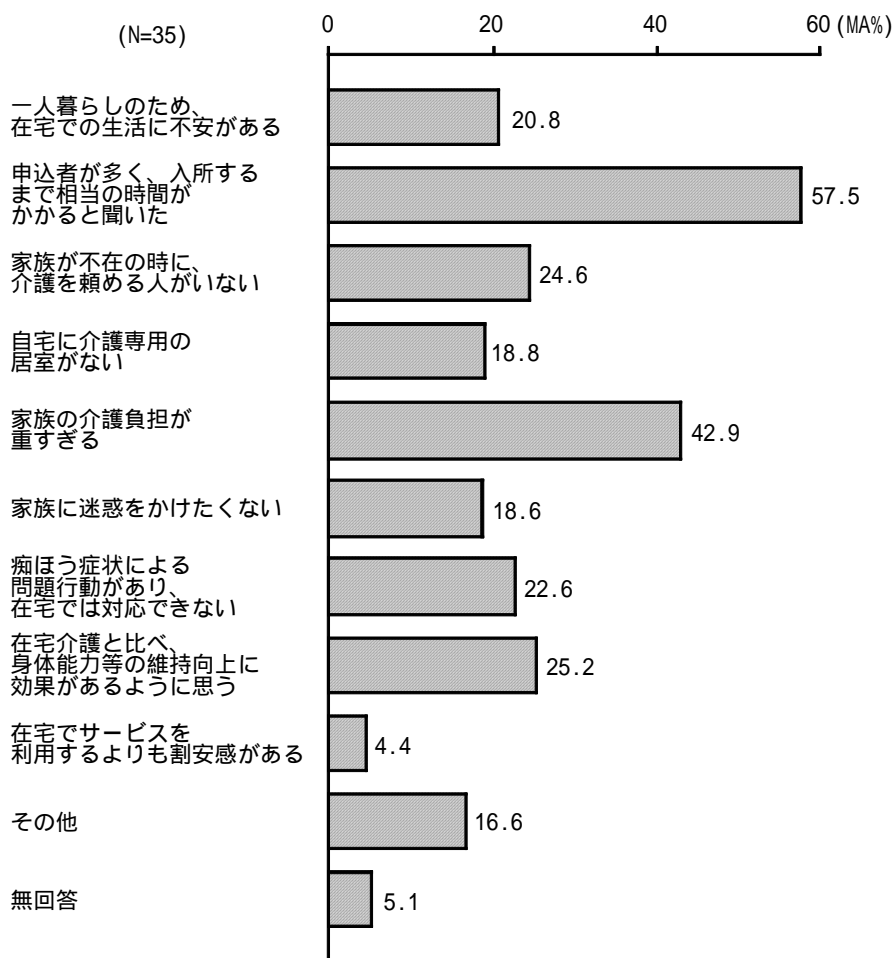
図 4-32 申込み施設数



申込み施設数については、介護老人福祉施設は「1 か所」が 35.3%、「3 か所以上」が 29.5%であり、介護老人保健施設、介護療養型医療施設も「1 か所」が最も多くなっている。

ウ 入所申込みをした理由

図 4-33 入所申込みをした理由



施設に入所申込みをした理由としては、「申込者が多く、入所するまで相当の時間がかかると聞いた」が 57.5%、「家族の介護負担が重すぎる」が 42.9%などとなっている。

表 4-13 施設への早急な入所希望の有無別 入所申込みをした理由

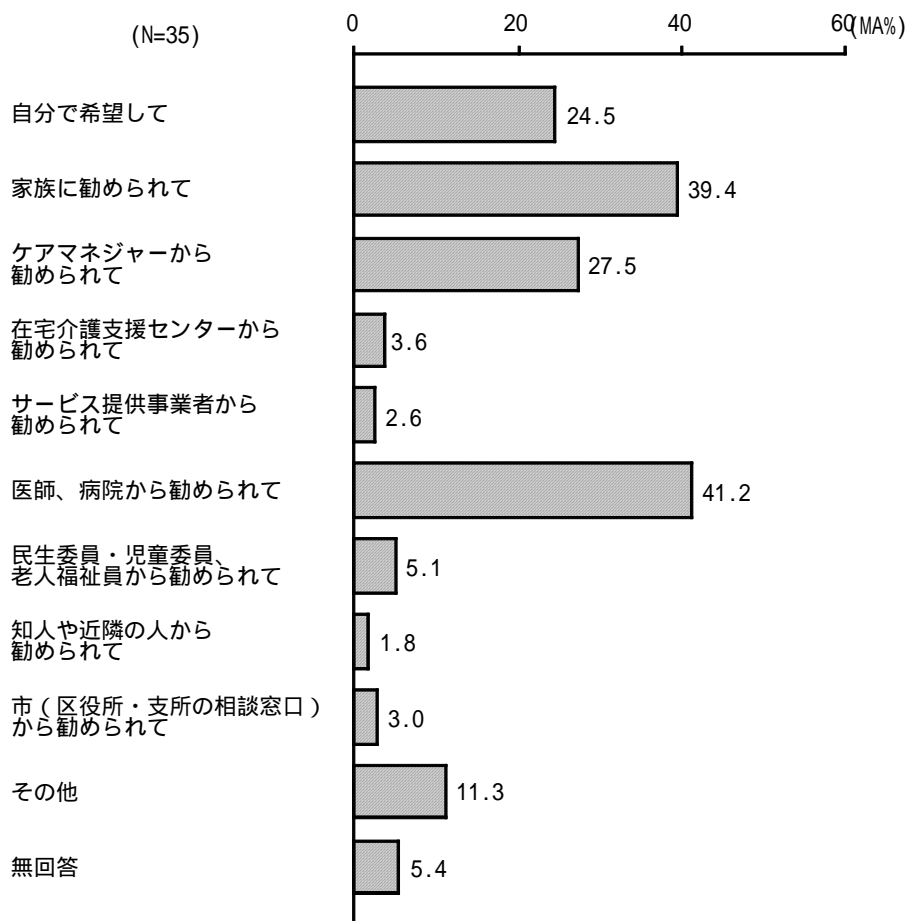
	調査数 (N)	一人暮らしのため、在宅での生活に不安がある	入居するまで相当の時間がかかると聞いた	申請者が多く、入所が難しい	家族が不在の時に、介護を頼める人がいない	自宅に介護専用の居室がない	家族の介護負担が重すぎる	家族に迷惑をかけたくはない
早急な入所を希望する	18	38.6	64.3	20.3	20.4	49.0	13.2	
しばらくは在宅でやっていけるため、早急な入所を希望しない	3	-	62.1	53.7	19.0	38.1	19.1	
入院中のため、早急な入所を希望しない	9	6.1	44.4	20.9	28.3	35.7	20.9	
その他	3	-	82.3	30.5	-	51.9	30.5	
無回答	3	-	22.5	22.5	-	22.5	32.3	
合計	35	20.8	57.5	24.6	18.8	42.9	18.6	

	調査数 (N)	対応できない、在宅では問題はない	行動が制限される、在宅では問題はない	果敢がある、在宅介護と比べ、思うように身体が動く	在宅よりもサービスが利用できる	その他	無回答
早急な入所を希望する	18	29.9	26.3	8.7	24.5	-	
しばらくは在宅でやっていけるため、早急な入所を希望しない	3	-	-	-	-	-	
入院中のため、早急な入所を希望しない	9	6.1	28.4	-	7.4	7.5	
その他	3	51.9	60.9	-	30.5	17.7	
無回答	3	22.5	-	-	-	22.7	
合計	35	22.6	25.2	4.4	16.6	5.1	

施設への早急な入所希望の有無別でみると、早急な入所の希望の有無を問わず、「申込者が多く、入所するまで相当の時間がかかると聞いた」が最も多くなっている。また、早急な入所を希望する人では、「家族の介護負担が重すぎる」(49.0%)、「一人暮らしのため、在宅での生活に不安がある」(38.6%)などの割合も高くなっている。

エ 入所申込みをしたきっかけ

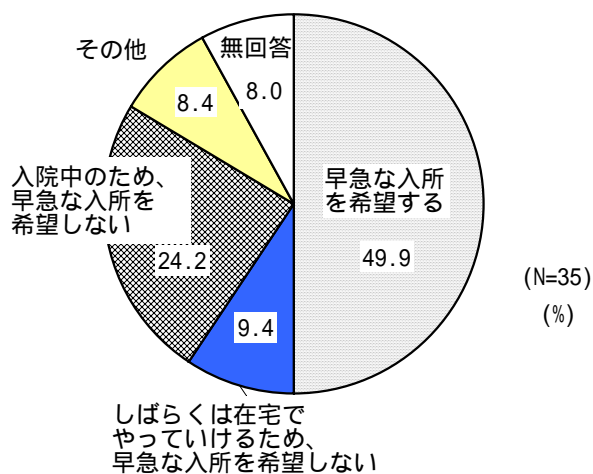
図 4-34 入所申込みをしたきっかけ



入所申込みをしたきっかけについては、「医師、病院から勧められて」が 41.2%、「家族に勧められて」が 39.4%などとなっている。

オ 早急な入所希望の有無

図 4-35 早急な入所希望の有無

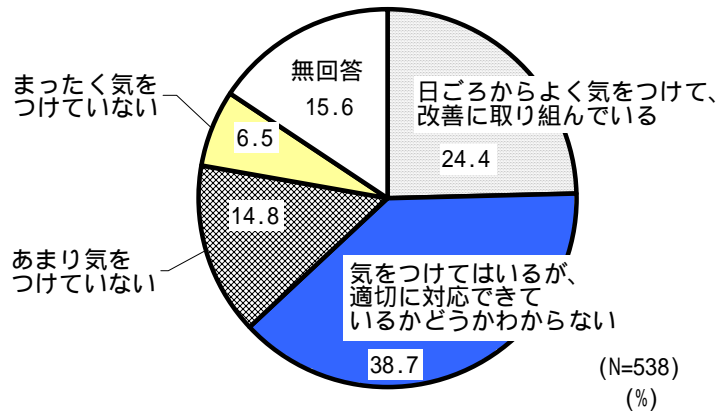


施設への早急な入所を希望している人は 49.9%と約半数を占め、「入院中のため、早急な入所を希望しない」が 24.2%となっている。

4 介護予防と介護のあり方について

(1) 心身の変化に対する意識

図 4-36 心身の変化への対応・改善の有無



心身の変化に対して日ごろから配慮している人は全体の 63.1%を占め、「改善に取り組んでいる」人は 24.4%となっている。

表 4-14 要介護度別 心身の変化への対応・改善の有無

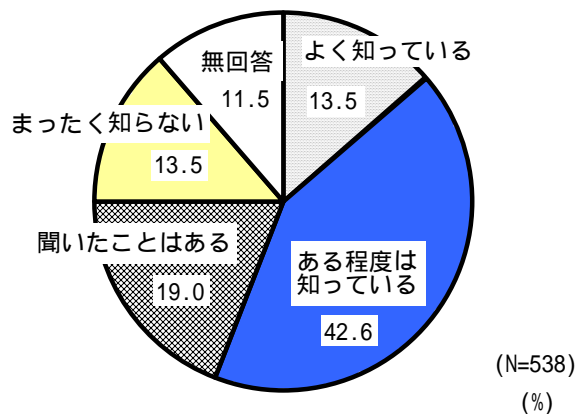
	調査数 (N)	(%)				
		日ごろから気をつけている	適切に対応できている	気をつけてはいるが、適切に対応できているかどうかわからない	あまり気をつけていない	まったく気をつけていない
要支援	125	33.3	36.2	14.5	5.8	10.1
要介護1	204	30.5	43.9	8.5	3.7	13.4
要介護2	68	24.1	38.6	16.9	7.2	13.3
要介護3	40	6.6	42.1	30.3	11.8	9.2
要介護4	50	10.1	36.7	25.3	7.6	20.3
要介護5	51	6.3	23.8	15.0	13.8	41.3
無回答	-	-	-	-	-	-
合計	538	24.4	38.7	14.8	6.5	15.6

要介護度別にみると、「日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる」人の割合は、要支援で 33.3%、要介護1で 30.5%と、軽度層で高くなっている。

(2) 介護予防に関する知識と取り組み

ア 老化予防・介護予防に関する理解

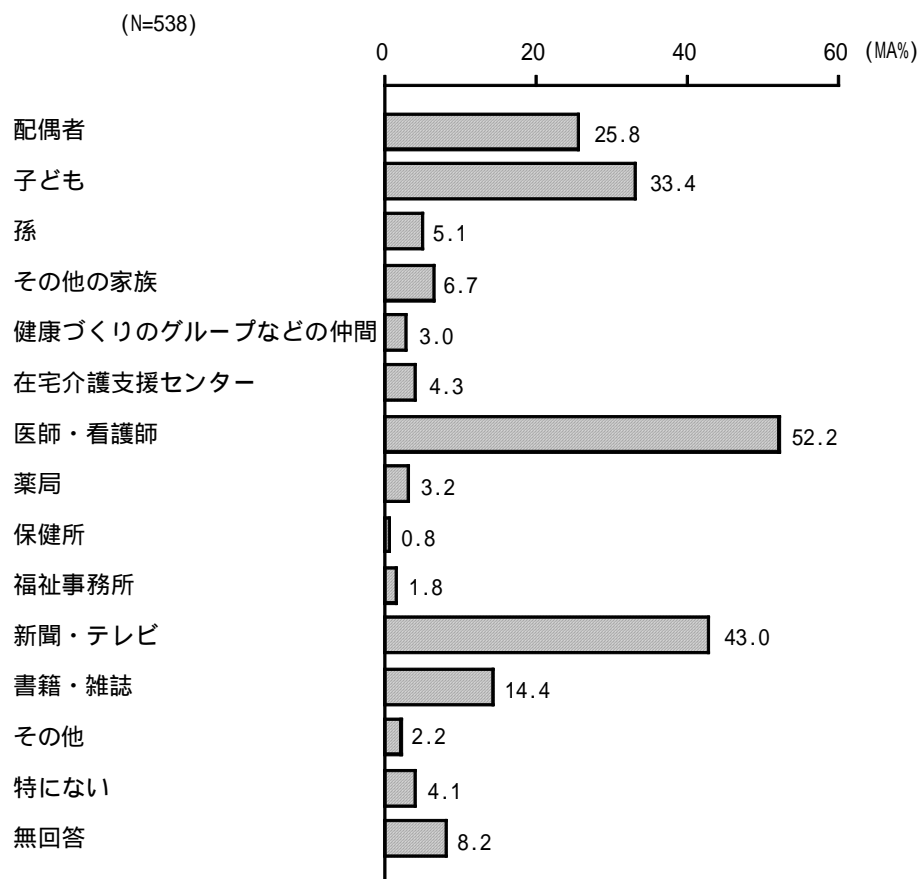
図 4-37 老化予防・介護予防に関する理解



介護予防や老化予防について「知っている」「よく知っている」に「ある程度は知っている」を加えた割合)と答えた人は56.1%となっている。

イ 病気・老化の予防や健康づくりに関する情報源

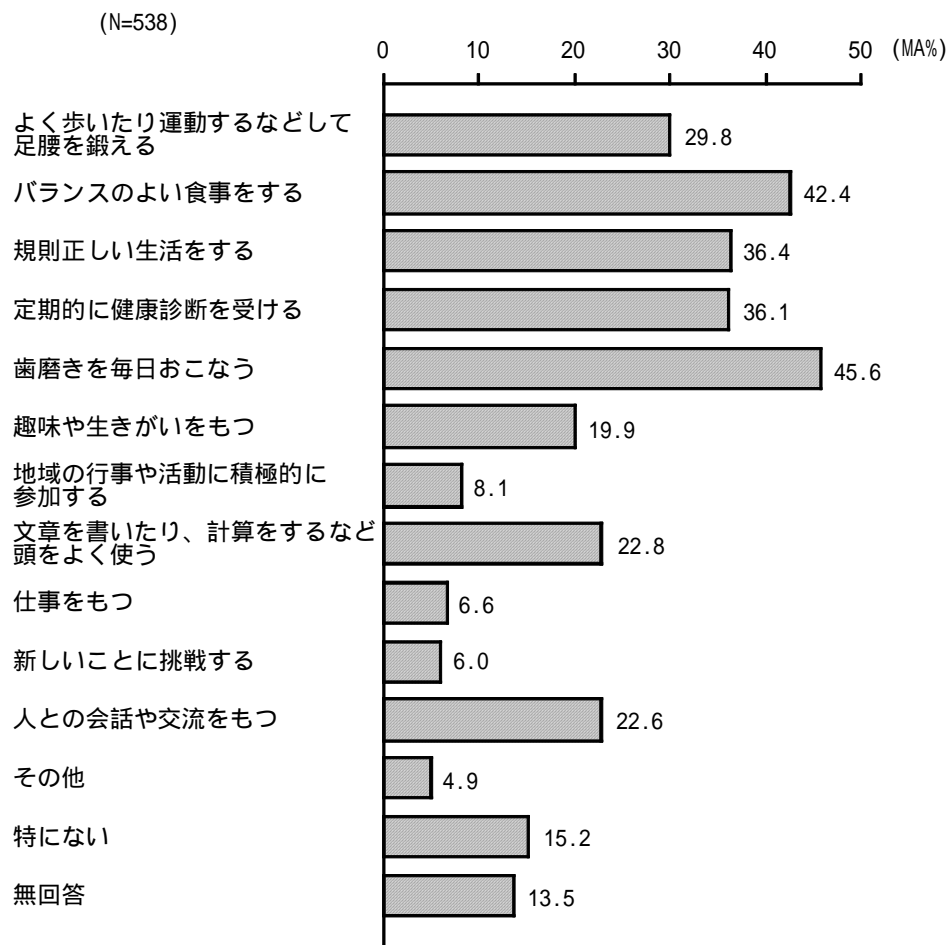
図 4-38 病気・老化の予防や健康づくりに関する情報源



病気・老化予防や健康づくりに関する情報源としては、「医師・看護師」が 52.2%と最も多く、次いで「新聞・テレビ」(43.0%)、「子ども」(33.4%)、「配偶者」(25.8%)となっている。

ウ 病気・老化の予防のため取り組んでいること

図 4-39 病気・老化の予防のため取り組んでいること



病気・老化予防のために取り組んでいることとしては、「歯磨きを毎日おこなう」が 45.6%と最も多く、次いで「バランスのよい食事をする」(42.4%)、「規則正しい生活をする」(36.4%)、「定期的に健康診断を受ける」(36.1%)が多くなっている。

表 4-15 要介護度別 病気・老化の予防のため取り組んでいること

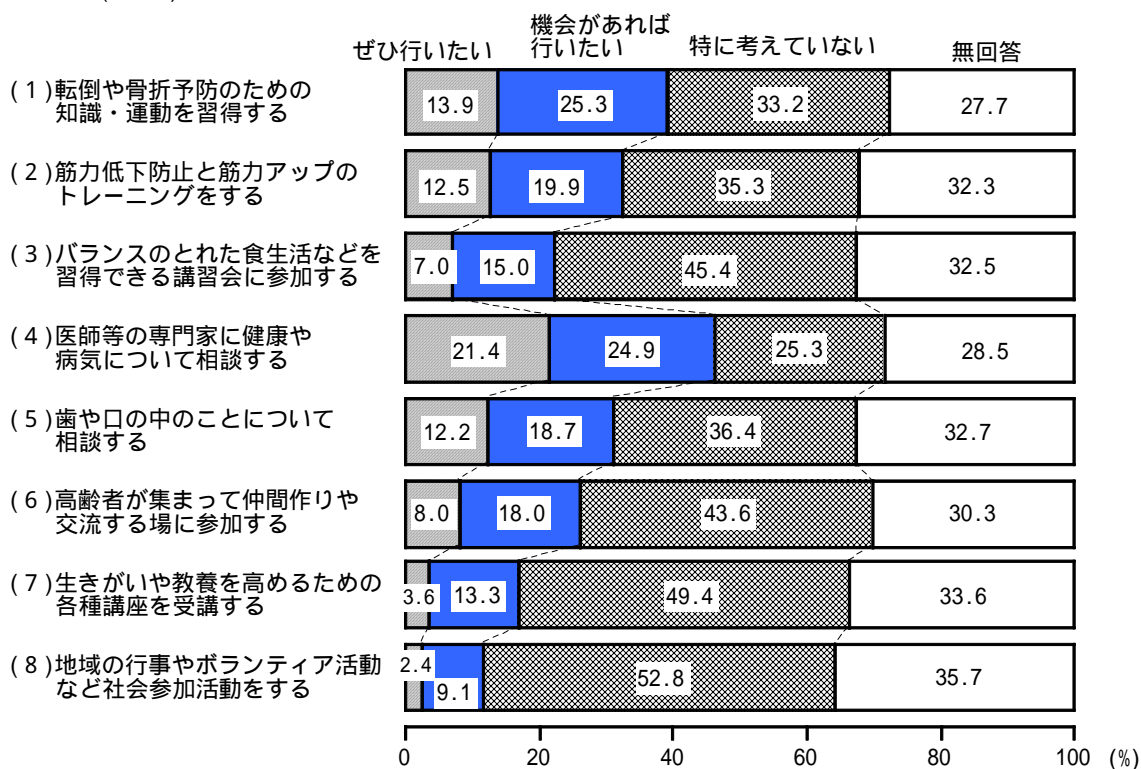
	調査数 (N)	よく歩いたり足腰を鍛える	バランスのよい食事を	規則正しい生活をする	定期的に健康診断を受	歯磨きを毎日おこなう	趣味や生きがいをもつ	地域の行事や活動に積	文章を書いたり、計算	仕事をもつ	新しいことに挑戦する	人との会話や交流をも	その他	特にな	無回答
要支援	125	41.3	40.6	43.5	44.2	55.1	23.2	9.4	23.9	5.8	5.1	25.4	4.3	6.5	8.0
要介護1	204	34.1	52.4	41.5	42.7	54.9	26.8	13.4	30.5	11.0	11.0	30.5	4.9	9.8	14.6
要介護2	68	24.1	48.2	37.3	38.6	45.8	14.5	1.2	19.3	3.6	2.4	16.9	4.8	18.1	8.4
要介護3	40	22.4	27.6	26.3	22.4	31.6	11.8	1.3	10.5	1.3	-	9.2	6.6	31.6	3.9
要介護4	50	17.7	31.6	26.6	17.7	24.1	10.1	5.1	15.2	5.1	3.8	15.2	7.6	27.8	17.7
要介護5	51	10.0	21.3	15.0	15.0	17.5	7.5	1.3	11.3	1.3	-	10.0	2.5	28.8	32.5
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	538	29.8	42.4	36.4	36.1	45.6	19.9	8.1	22.8	6.6	6.0	22.6	4.9	15.2	13.5

要介護度別にみると、「歯磨きを毎日おこなう」の割合は、要支援及び要介護1で50%を超えている。また、要支援の人では「よく歩いたり運動するなどして足腰を鍛える」、要介護1の人では、「バランスのよい食事をする」「文章を書いたり、計算をするなど頭をよく使う」「人との会話や交流をもつ」などの項目について、他の要介護度の人よりも割合が高くなっている。

エ 病気・老化の予防や健康づくりのために行いたいこと

図 4-40 病気・老化の予防や健康づくりのために行いたいこと

(N=538)



病気・老化予防や健康づくりのため今後行いたいこと（「ぜひ行いたい」に「機会

があれば行いたい」を加えた割合)としては、『(4) 医師等の専門家に健康や病気について相談する』が 46.3%と最も多く、次いで『(1) 転倒や骨折予防のための知識・運動を習得する』(39.2%), 『(2) 筋力低下防止と筋力アップのトレーニングをする』(32.4%) などとなっている。

表 4-16 要介護度別 病気・老化の予防や健康づくりのために行いたいこと

	調査数 (N)	(1) 転倒や骨折予防のための知識・運動を習得する				(2) 筋力低下防止と筋力アップのトレーニングをする				(3) バランスのとれた食生活などを習得できる講習会に参加する (%)			
		ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
要支援	125	18.8	29.0	26.1	26.1	13.8	23.9	31.9	30.4	8.7	21.0	41.3	29.0
要介護1	204	12.2	30.5	28.0	29.3	13.4	19.5	31.7	35.4	8.5	14.6	42.7	34.1
要介護2	68	18.1	26.5	36.1	19.3	15.7	19.3	37.3	27.7	6.0	14.5	48.2	31.3
要介護3	40	9.2	18.4	55.3	17.1	7.9	17.1	55.3	19.7	2.6	5.3	71.1	21.1
要介護4	50	13.9	12.7	43.0	30.4	11.4	19.0	39.2	30.4	5.1	12.7	50.6	31.6
要介護5	51	6.3	11.3	40.0	42.5	6.3	15.0	36.3	42.5	3.8	12.5	37.5	46.3
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	538	13.9	25.3	33.2	27.7	12.5	19.9	35.3	32.3	7.0	15.0	45.4	32.5

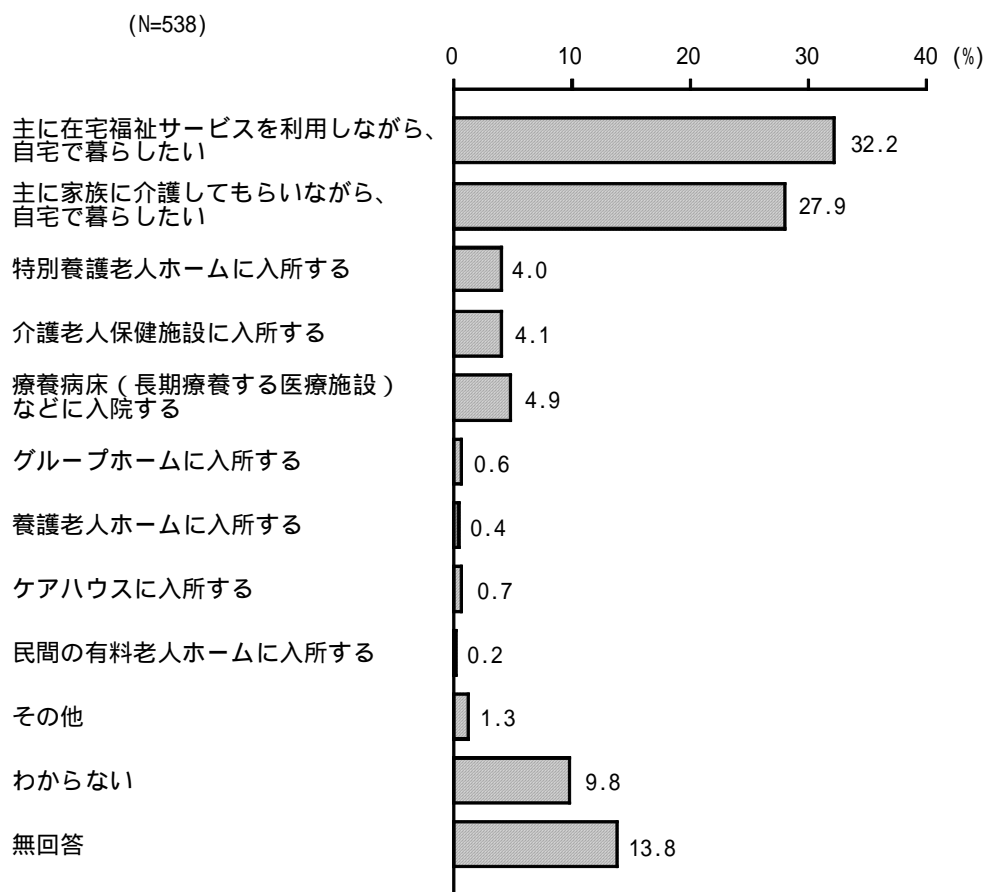
	調査数 (N)	(4) 医師等の専門家に健康や病気について相談する				(5) 歯や口の中のことについて相談する				(6) 高齢者が集まって仲間作りや交流する場に参加する (%)			
		ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
要支援	125	25.4	27.5	21.7	25.4	13.8	23.2	34.1	29.0	14.5	20.3	37.7	27.5
要介護1	204	24.4	25.6	22.0	28.0	15.9	18.3	30.5	35.4	7.3	24.4	39.0	29.3
要介護2	68	20.5	19.3	30.1	30.1	8.4	20.5	41.0	30.1	7.2	14.5	47.0	31.3
要介護3	40	15.8	32.9	34.2	17.1	7.9	14.5	55.3	22.4	1.3	7.9	69.7	21.1
要介護4	50	13.9	27.8	29.1	29.1	7.6	19.0	43.0	30.4	3.8	11.4	51.9	32.9
要介護5	51	12.5	13.8	30.0	43.8	6.3	10.0	38.8	45.0	5.0	6.3	43.8	45.0
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	538	21.4	24.9	25.3	28.5	12.2	18.7	36.4	32.7	8.0	18.0	43.6	30.3

	調査数 (N)	(7) 生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する				(8) 地域の行事やボランティア活動など社会参加活動をする (%)			
		ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
要支援	125	4.3	24.6	39.1	31.9	3.6	16.7	47.1	32.6
要介護1	204	3.7	13.4	48.8	34.1	2.4	9.8	51.2	36.6
要介護2	68	6.0	6.0	54.2	33.7	2.4	3.6	54.2	39.8
要介護3	40	-	2.6	76.3	21.1	-	-	78.9	21.1
要介護4	50	2.5	11.4	50.6	35.4	3.8	6.3	54.4	35.4
要介護5	51	2.5	5.0	48.8	43.8	-	5.0	48.8	46.3
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	538	3.6	13.3	49.4	33.6	2.4	9.1	52.8	35.7

「ぜひ行きたい」に「機会があれば行きたい」を加えた割合について、要介護度別にみると、『(1) 転倒や骨折予防のための知識・運動を習得する』は要支援から要介護2までの人で40%台と高くなっている。『(2) 筋力低下防止と筋力アップのトレーニングをする』『(5) 歯や口の中のことについて相談する』については、要支援の人で40%近くとなっている。また、『(4) 医師等の専門家に健康や病気について相談する』については、要介護5を除き、約40~50%と全体的に高い。

(3) 住まいと介護について希望する暮らし方

図 4-41 住まいと介護について希望する暮らし方



住まいと介護について希望する暮らし方としては、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が32.2%、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」が27.9%となっており、合計すると全体の60.1%が自宅での生活を希望している。

表 4-17 家族介護力別 住まいと介護について希望する暮らし方

	調査数 (N)	でを主に 暮らし 利用し たいな がら、 自宅 サー ビス	らに した たい な がら、 自 宅 で 暮 ら し て も	入特 所別 養 護 老 人 ホ ー ム に	所介 護 老 人 保 健 施 設 に 入	院る す医 療 病 床 (長 期 療 養 す な ど に 入	(%) すグ ル ー プ ホ ー ム に 入 所
ひとり暮らし	105	32.3	7.0	11.1	6.3	6.2	-
夫婦のみの世帯	193	42.6	27.1	0.8	2.8	3.1	0.5
本人と兄弟姉妹 / 本人と親	9	28.2	12.4	6.8	6.8	6.8	-
子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある	120	27.7	36.3	2.2	5.2	5.4	2.1
子ども・孫と同居で、昼間ひとりきりになることはない	70	22.2	47.2	2.7	0.8	2.6	-
無回答	41	13.9	31.9	7.5	6.1	12.0	-
合計	538	32.2	27.9	4.0	4.1	4.9	0.6

	調査数 (N)	所養 護 老 人 ホ ー ム に 入	るケ ア ハ ウ ス に 入 所 す	ム 民 間 の 有 料 老 人 ホ ー ム に 入 所 す	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
ひとり暮らし	105	0.9	1.7	-	2.1	12.9	19.6
夫婦のみの世帯	193	-	0.5	-	1.3	6.2	15.2
本人と兄弟姉妹 / 本人と親	9	-	-	-	-	39.0	-
子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある	120	-	0.5	1.1	1.3	11.5	6.8
子ども・孫と同居で、昼間ひとりきりになることはない	70	-	-	-	-	7.6	16.9
無回答	41	3.6	1.5	-	1.3	10.8	11.4
合計	538	0.4	0.7	0.2	1.3	9.8	13.8

家族介護力別にみると、夫婦のみの世帯では、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が42.6%と高い。子ども・孫との同居世帯では「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」の割合が相対的に高く、特に、子ども・孫と同居で、昼間ひとりきりになることはない世帯では、47.2%と最も高くなっている。ひとり暮らしでは、「特別養護老人ホームに入所する」が11.1%となっている。

表 4-18 要介護度別 住まいと介護について希望する暮らし方

	調査数(N)	でを主 暮ら利用 しな在 した宅 いた福 ら社 自サ 宅ビ ス	ら主 しいに な在 が宅 ら福 自社 宅サ ス	ら主 しいに な在 が宅 ら福 自社 宅サ ス	入特 所別 す養 る護 老老 人人 保保 健健 施施 設設 にに 入入	院介 す護 る老 医人 療保 施健 設施 にに 入入	療養 病病 床床 (長 期期 療療 養養 入入 すす	すグ るル ププ ホホ ー ムム にに 入入 所所	す養 る護 老老 人人 ホホ ー ムム にに 入入 所所	ケア ハハ ウウ スス にに 入入 所所 すす	に民 入間の 所有 す料 る老 人老 ホホ ー ムム	その他	わ か ら な い	無 回 答
要支援	125	42.0	25.4	1.4	2.9	1.4	0.7	0.7	2.2	-	2.2	12.3	8.7	
要介護1	204	35.4	23.2	1.2	6.1	3.7	1.2	-	-	-	-	12.2	17.1	
要介護2	68	31.3	42.2	3.6	-	3.6	-	1.2	-	-	-	3.6	14.5	
要介護3	40	18.4	38.2	7.9	5.3	7.9	-	-	-	-	3.9	9.2	9.2	
要介護4	50	19.0	29.1	15.2	6.3	6.3	-	1.3	2.5	1.3	2.5	5.1	11.4	
要介護5	51	20.0	25.0	7.5	1.3	16.3	-	-	-	1.3	2.5	7.5	18.8	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	538	32.2	27.9	4.0	4.1	4.9	0.6	0.4	0.7	0.2	1.3	9.8	13.8	

要介護度別にみると、要支援及び要介護1の人では、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が最も多く、それぞれ42.0%、35.4%となっている。要介護2以上の人では、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」が最も多くなっている。また、要介護3以上の人では、介護保険3施設を希望する人が20%台となっている。

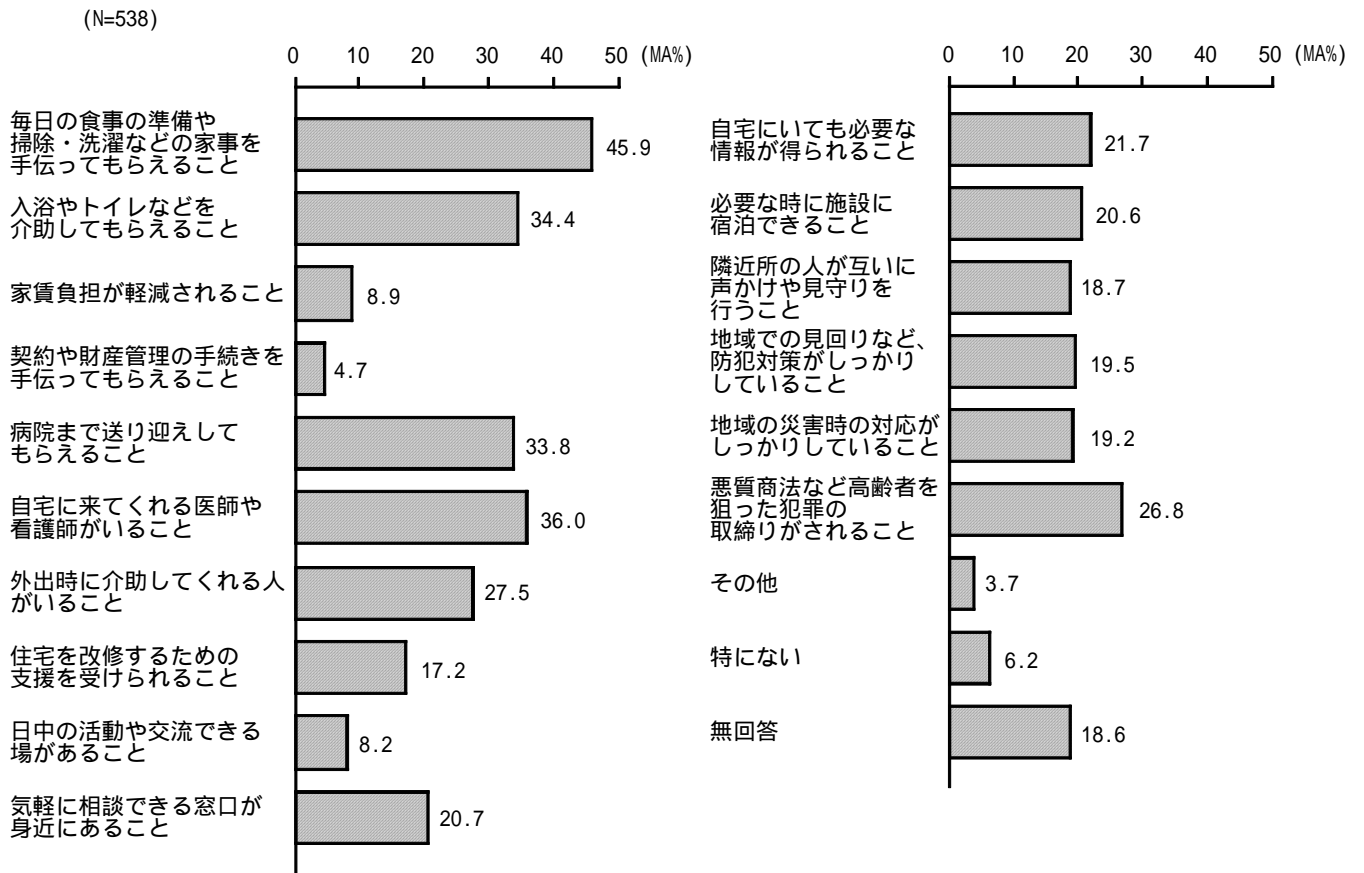
表 4-19 施設への入所申し込みの有無別 住まいと介護について希望する暮らし方

	調査数(N)	でを主 暮ら利用 しな在 した宅 いた福 ら社 自サ 宅ビ ス	ら主 しいに な在 が宅 ら福 自社 宅サ ス	ら主 しいに な在 が宅 ら福 自社 宅サ ス	入特 所別 す養 る護 老老 人人 保保 健健 施施 設設 にに 入入	院介 す護 る老 医人 療保 施健 設施 にに 入入	療養 病病 床床 (長 期期 療療 養養 入入 すす	すグ るル ププ ホホ ー ムム にに 入入 所所	す養 る護 老老 人人 ホホ ー ムム にに 入入 所所	ケア ハハ ウウ スス にに 入入 所所 すす	に民 入間の 所有 す料 る老 人老 ホホ ー ムム	その他	わ か ら な い	無 回 答
申し込んでいる	45	20.6	8.2	24.1	13.6	13.3	-	1.4	3.4	1.4	4.3	4.0	5.6	
申し込んでいない	365	34.8	36.5	1.6	2.5	3.2	0.9	0.2	0.4	-	0.7	10.8	8.5	
無回答	128	28.9	10.6	3.7	5.3	6.8	-	0.6	0.7	0.5	1.9	9.2	31.9	
合計	538	32.2	27.9	4.0	4.1	4.9	0.6	0.4	0.7	0.2	1.3	9.8	13.8	

施設への入所申し込みの有無別にみると、入所申込をしている人は、申込していない人よりも、介護保険3施設やケアハウスを希望する割合が高いのに対し、申込していない人では、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」(34.8%)と「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」(36.5%)を合わせて70%強を占めている。

(4) 在宅生活を続けていく上で必要な支援

図 4-42 在宅生活を続けていく上で必要な支援



在宅生活を続けていく上で必要な支援としては、「毎日の食事の準備や掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が45.9%と最も多く、次いで「自宅に来てくれる医師や看護師がいること」(36.0%)、「入浴やトイレなどを介助してもらえること」(34.4%)、「病院まで送り迎えしてもらえること」(33.8%)などとなっている。

表 4-20 要介護度別 自宅で生活を続けていくために必要な支援

	調査数 (N)	手除毎 伝・日の つ洗濯食 ても事 らな えの ら家 え事 ら掃	助入 浴し ても ら え る こ と を 介	こ家 と賃 負 担 が 軽 減 さ れ る	こ契 と約 を 手 伝 つ て も ら え る 手 続	も病 ら院 えま るで こ送 とり 迎 え し て	や自 看護 師に 来 て く れ る こ と 医 師	る外 人出 が時 に介 助 し て く れ	支住 援宅 をを 受改 け修 らす る た め の こ と	る日 中 の 活 動 や 交 流 で き る こ と	が気 身 軽 に 相 談 で き る 窓 口 が 身 近 に あ る こ と
要支援	125	48.6	25.4	10.1	5.1	32.6	28.3	20.3	18.1	8.7	28.3
要介護 1	204	47.6	26.8	8.5	4.9	34.1	34.1	28.0	17.1	11.0	20.7
要介護 2	68	41.0	32.5	10.8	6.0	36.1	33.7	26.5	14.5	4.8	18.1
要介護 3	40	50.0	53.9	5.3	2.6	42.1	35.5	34.2	22.4	5.3	18.4
要介護 4	50	48.1	64.6	10.1	3.8	32.9	55.7	39.2	20.3	6.3	16.5
要介護 5	51	33.8	45.0	6.3	3.8	26.3	46.3	27.5	12.5	5.0	11.3
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	538	45.9	34.4	8.9	4.7	33.8	36.0	27.5	17.2	8.2	20.7

	調査数 (N)	報自 が宅 に 得 ら れ て も 必 要 な 情 報	で必 要 な 時 に 施 設 に 宿 泊 し 得 る こ と	と か 隣 近 の 見 守 り が 互 に あ い ま し あ う こ と	て防 域 で の 見 回 り な ど が あ る こ と	し地 域 の 災 害 時 の 対 応 が あ る こ と	さ狙 れつ るた る犯 罪 な ど 取 締 り が あ る こ と	そ の 他	特 に な い	無 回 答
要支援	125	28.3	15.9	18.1	20.3	16.7	31.2	2.2	4.3	13.8
要介護 1	204	20.7	20.7	23.2	25.6	23.2	32.9	4.9	6.1	20.7
要介護 2	68	24.1	18.1	18.1	16.9	19.3	21.7	1.2	8.4	18.1
要介護 3	40	23.7	26.3	15.8	21.1	25.0	26.3	9.2	7.9	11.8
要介護 4	50	12.7	31.6	11.4	7.6	11.4	11.4	1.3	7.6	16.5
要介護 5	51	13.8	20.0	12.5	7.5	12.5	13.8	3.8	5.0	30.0
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	538	21.7	20.6	18.7	19.5	19.2	26.8	3.7	6.2	18.6

要介護度別にみると、「入浴やトイレなどを介助してもらえること」は要介護3及び4で50%を超え、「自宅に来てくれる医師や看護師がいること」は要介護4で55.7%と、他の要介護度と比べて高くなっている。また、「気軽に相談できる窓口が身近にあること」は要支援で28.3%と最も高くなっている。

表 4-21 家族介護力別 自宅で生活を続けていくために必要な支援

	調査数 (N)	手除毎 伝日の つ洗食 ても濯事 もらな えのの る家 こと備 を掃	助入 して浴 もら えな るト ことイ をレ 介	こ家 と賃 負 担 が 軽 減 さ れ る	き契 と約 手や 伝財 つ産 て管 も理 ら手 え続 る	も病 ら院 えま るで こと送 り 迎 え し て	や自 看護 師に が来 てて い る こ と 医 師	る外 人が 出 時 に 介 助 し て く れ る	支住 援宅 をを 受改 け修 らす るた め の こ と	る日 中 の 活 動 や 交 流 で き る こ と	が気 身 軽 に 相 談 で き る 窓 口 に あ る こ と
ひとり暮らし	105	42.0	26.6	12.7	2.5	33.0	28.9	27.5	12.5	7.0	24.9
夫婦のみの世帯	193	52.0	34.4	10.3	6.2	33.5	37.2	29.1	22.6	9.9	24.3
本人と兄弟姉妹 / 本人と親	9	40.6	28.0	6.8	-	54.6	5.6	32.2	6.8	-	-
子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある	120	54.3	45.3	6.9	6.6	41.7	43.5	36.6	19.1	8.5	18.9
子ども・孫と同居で、昼間ひとりきりになることはない	70	25.1	25.1	1.7	2.7	24.7	30.9	15.5	6.9	8.0	11.0
無回答	41	38.5	40.3	10.9	2.0	24.3	42.0	12.6	18.7	5.1	19.1
合計	538	45.9	34.4	8.9	4.7	33.8	36.0	27.5	17.2	8.2	20.7

	調査数 (N)	報自 が宅 得に ら ら い て も 必 要 な 情 報	で必 要な こ と に 施 設 に 宿 泊 し て く れ る	と か 隣 近 所 の 見 守 り が 互 に 行 う こ と	防 域 で の 見 守 り が な ど、 し 地 域 の 災 害 時 の 対 応 が な ど	さ ら な ど の 取 組 み が な ど	悪 質 な 犯 罪 者 が な ど	そ の 他	特 に な い	無 回 答
ひとり暮らし	105	20.6	17.2	18.1	23.2	20.1	18.9	3.6	4.7	25.4
夫婦のみの世帯	193	26.7	22.5	22.5	22.0	21.2	35.7	3.8	3.5	17.6
本人と兄弟姉妹 / 本人と親	9	-	5.6	9.7	-	-	15.3	-	19.3	6.8
子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある	120	24.0	25.3	20.0	22.3	23.1	31.3	5.8	8.0	11.3
子ども・孫と同居で、昼間ひとりきりになることはない	70	12.5	11.7	14.6	9.5	11.5	15.7	1.5	8.0	28.3
無回答	41	15.0	25.3	7.3	11.8	13.4	13.4	1.3	10.6	13.2
合計	538	21.7	20.6	18.7	19.5	19.2	26.8	3.7	6.2	18.6

家族介護力別にみると、子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある世帯では、「入浴やトイレなどを介助してもらえること」(45.3%)、「外出時に介助してくれる人がいること」(36.6%)などの割合が相対的に高くなっている。

表 4-22 住まいと介護について希望する暮らし方別 自宅で生活を続けていくために必要な支援

	調査数 (N)	手除毎 伝・洗日 つて濯の もらえ事 ること備 を掃や	助入 して浴 もらし えらト ることイ を介	こ家 と賃 負担 が軽 減さ れる	こ契 き約 を財 手伝産 つて管 もら理 えるの こと手 続	も病 ら院 えま るで こと送 り迎 えし て	や自 宅に 来て くれ る医 師	外 出 時 に 介 助 し て く れ	支 援 を 受 け ら れ る た め の	住 宅 を 改 修 す る た め の	日 中 の 活 動 や 交 流 で き る 場 所 が あ る こ と	が 気 身 に 相 談 で き る 窓 口 が あ る こ と
主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい	173	60.8	39.6	10.5	8.5	47.2	45.5	34.2	22.8	7.2	26.1	
主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい	150	53.7	41.7	5.3	3.6	32.2	40.1	32.9	19.4	7.3	17.5	
特別養護老人ホームに入所する	21	26.6	30.1	9.8	6.9	31.0	37.8	18.7	16.1	7.7	13.7	
介護老人保健施設に入所する	22	39.0	41.4	21.2	2.4	16.1	31.3	21.9	8.9	-	22.0	
療養病床（長期療養する医療施設）など入院する	26	36.9	47.1	9.9	2.4	33.6	39.0	20.3	16.3	4.4	8.6	
グループホームに入所する	3	-	-	73.3	-	26.7	-	-	-	73.3	100.0	
養護老人ホームに入所する	2	38.4	65.1	26.7	-	38.4	26.7	38.4	-	-	-	
ケアハウスに入所する	4	77.2	54.5	15.9	22.8	61.4	54.5	61.4	22.8	22.8	84.1	
民間の有料老人ホームに入所する	1	50.2	50.2	-	-	50.2	-	50.2	-	-	-	
その他	7	35.5	35.5	26.5	9.2	16.9	41.1	33.9	16.9	22.5	30.2	
わからない	53	41.7	19.7	9.0	1.7	35.7	34.1	25.9	19.5	14.3	32.0	
無回答	75	10.6	12.3	2.7	-	10.3	7.9	7.0	2.8	7.5	5.5	
合計	538	45.9	34.4	8.9	4.7	33.8	36.0	27.5	17.2	8.2	20.7	

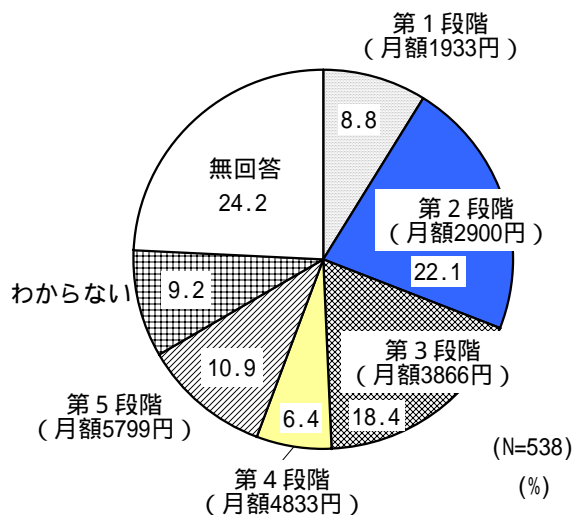
	調査数 (N)	報自 が宅 得ら らる ても 必要 な情 報	で必 要な 時に 施設 に宿 泊	と隣 近所 の見 守り が互 いに 声	防地 域で の策 の見 回り など 、	し地 域の 災害 時の 対応 が	狙つ た犯 罪な ど高 齢者 を	悪質 な商 法な ど	その他	特 に な い	無 回 答
主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい	173	29.7	24.0	22.7	27.1	24.3	35.0	2.1	2.3	5.2	
主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい	150	22.1	20.4	23.2	20.1	23.0	33.0	3.7	4.2	8.9	
特別養護老人ホームに入所する	21	13.7	28.0	13.7	10.7	10.7	13.7	4.9	19.8	34.5	
介護老人保健施設に入所する	22	6.5	24.4	2.4	33.3	22.6	39.8	-	-	29.6	
療養病床（長期療養する医療施設）など入院する	26	11.0	19.6	11.0	7.1	7.5	12.0	11.9	7.5	24.6	
グループホームに入所する	3	-	-	73.3	-	-	-	-	-	-	
養護老人ホームに入所する	2	-	26.7	-	-	-	-	-	34.9	-	
ケアハウスに入所する	4	22.8	22.8	22.8	-	-	-	22.8	-	-	
民間の有料老人ホームに入所する	1	-	100.0	-	-	49.8	-	-	-	-	
その他	7	30.2	16.9	22.5	22.5	22.5	21.0	34.2	-	9.3	
わからない	53	28.0	26.6	28.6	22.0	22.5	27.3	-	18.8	9.4	
無回答	75	9.7	5.9	-	4.4	4.4	4.4	4.0	7.9	69.4	
合計	538	21.7	20.6	18.7	19.5	19.2	26.8	3.7	6.2	18.6	

住まいと介護について希望する暮らし方別にみると、主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい人では、「毎日の食事の準備や掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」(60.8%)、「病院まで送り迎えしてもらえること」(47.2%)、「自宅に来てくれる医師や看護師がいること」(45.5%)などの回答が相対的に高くなっている。

5 介護保険制度について

(1) 第1号被保険者保険料の所得段階別区分

図 4-43 介護保険料の段階

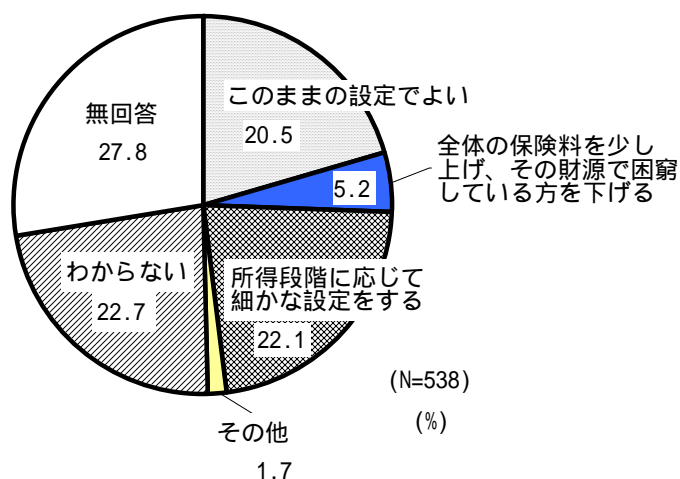


第1号被保険者保険料の所得段階別区分は、「第2段階」が22.1%、「第3段階」が18.4%と多くなっている。

(2) 保険料の設定および給付と負担のあり方についての意向

ア 介護保険料の設定について

図 4-44 介護保険料の設定について



第1号被保険者の所得段階別保険料の設定方法については、「所得段階に応じて細かな設定をする」が22.1%と最も多く、「このままの設定でよい」は20.5%、「全体の保険料を少し上げ、その財源で困窮している方を下げる」は5.2%となっている。

表 4-23 介護保険料の段階別 介護保険料の設定についての考え

	調査数 (N)	このままの設定でよい	全体的にその保険料を少し上げ、その財源を下げる	所得段階に応じて細かな設定をする	その他	わからない	無回答
第1段階 (月額1933円)	47	29.1	7.2	27.3	3.8	12.5	20.1
第2段階 (月額2900円)	119	24.3	3.2	33.2	1.1	21.7	16.5
第3段階 (月額3866円)	99	25.6	7.1	31.0	1.1	29.4	5.7
第4段階 (月額4833円)	34	14.1	2.4	35.0	-	39.7	8.8
第5段階 (月額5799円)	59	30.0	6.8	18.5	5.8	17.9	21.0
わからない	50	15.6	6.1	15.2	-	39.5	23.6
無回答	130	9.3	4.4	4.3	1.3	13.4	67.2
合計	538	20.5	5.2	22.1	1.7	22.7	27.8

保険料段階別にみると、第2～第4段階の人では「所得段階に応じて細かな設定をする」が30%を超えている。また、第1及び第5段階では、「このままの設定でよい」が30%前後みられる。

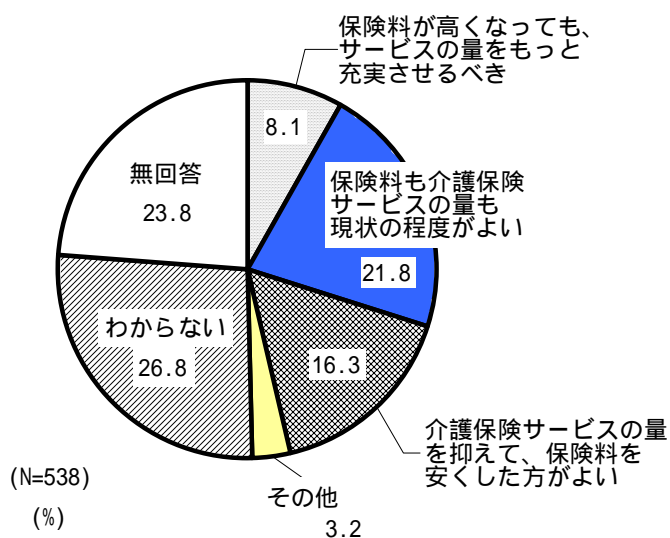
表 4-24 介護保険料の段階別 今後の保険料のあり方についての考え

	調査数 (N)	もっと充実させるべき	保険料が高くなってもサービスの量を減らさず	保険料も介護保険サービスの量も現状の程度がよい	介護保険サービスの量を抑えて、保険料を安くした方がよい	その他	わからない	無回答
第1段階 (月額1933円)	47	9.3	32.7	4.6	7.1	27.9	18.4	
第2段階 (月額2900円)	119	14.1	24.6	19.1	1.0	32.3	9.0	
第3段階 (月額3866円)	99	7.6	28.2	21.8	8.7	26.1	7.6	
第4段階 (月額4833円)	34	7.9	29.7	33.5	7.3	12.4	9.1	
第5段階 (月額5799円)	59	5.6	25.7	19.5	1.5	25.5	22.2	
わからない	50	4.2	19.9	9.7	-	45.2	21.0	
無回答	130	5.2	7.4	10.5	0.6	19.1	57.2	
合計	538	8.1	21.8	16.3	3.2	26.8	23.8	

保険料段階別にみると、第4段階の人では「介護保険サービスの量を抑えて、保険料を安くした方がよい」が33.5%と最も多く、それ以外の要介護度の人では「保険料も介護保険サービスの量も現状の程度がよい」という割合の方が多くなっている。また、第2段階では、「保険料が高くなってもサービスの量をもっと充実させるべき」が14.1%みられる。

イ 今後の保険料のあり方について

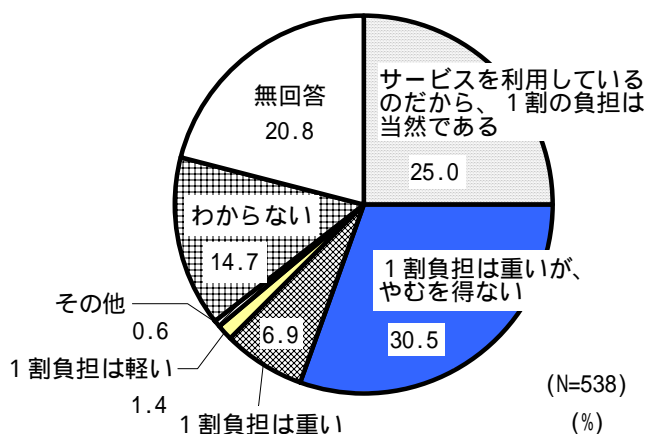
図 4-45 今後の保険料のあり方について



今後の保険料のあり方としては、「保険料も介護保険サービスの量も現状の程度がよい」が21.8%と最も多く、次いで「介護保険サービスの量を抑えて、保険料を安くした方がよい」(16.3%)、「保険料が高くなっても、サービスの量をもっと充実させるべき」(8.1%)となっている。

ウ 利用者負担について

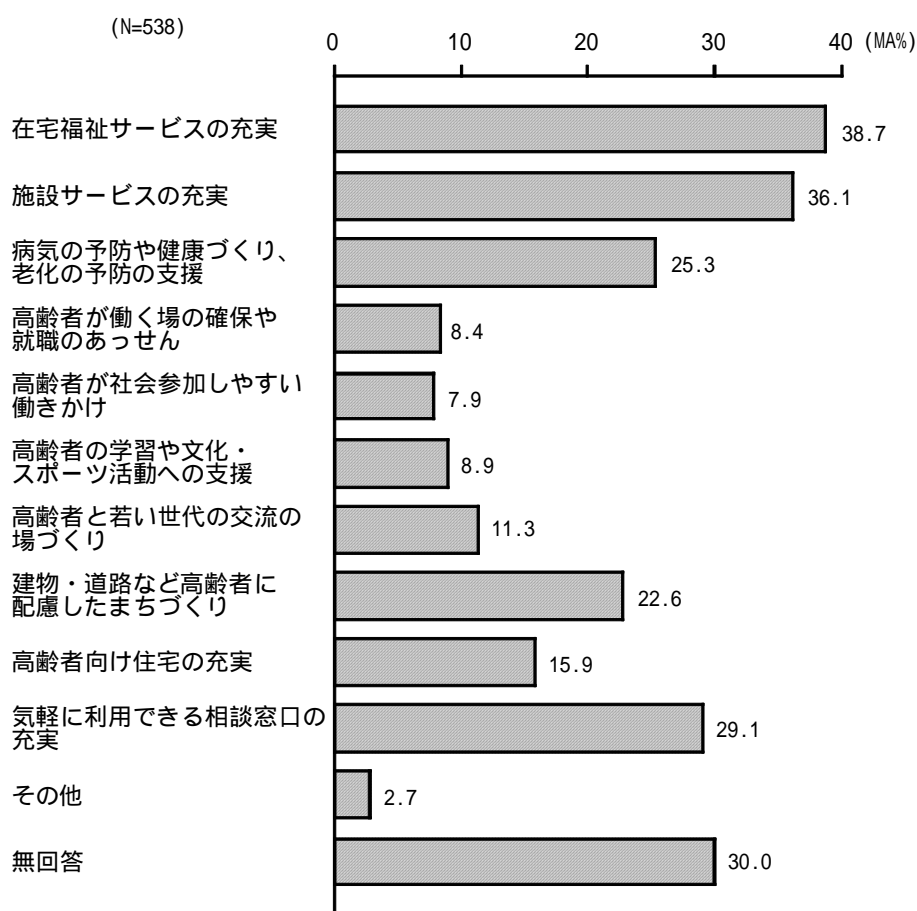
図 4-46 利用者負担について



介護サービス利用料の1割負担に対しては、「サービスを利用しているのだから、1割の負担は当然である」(25.0%)、および「1割負担は重いが、やむを得ない」(30.5%)が多くなっている。

(3) 高齢者保健福祉施策に対する要望

図 4-47 高齢者保健福祉について充実を希望する施策



高齢者保健福祉について今後充実を望む施策としては、「在宅福祉サービスの充実」「施設サービスの充実」がともに30%台後半と多く、次いで「気軽に利用できる相談窓口の充実」(29.1%)、「病気の予防や健康づくり、老化の防止の支援」(25.3%)、「建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり」(22.6%)の順となっている。

6 在宅介護の状況について

(1) 介護者の続柄・年代

図 4-48 介護者の続柄

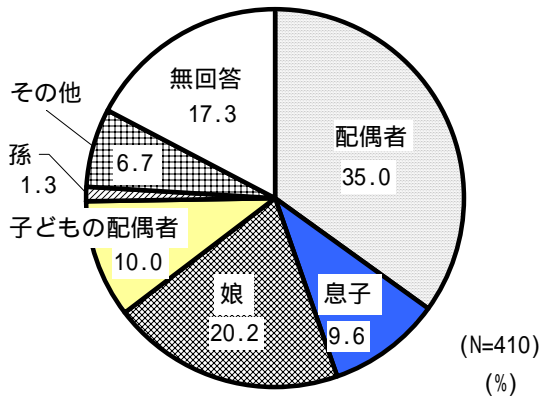
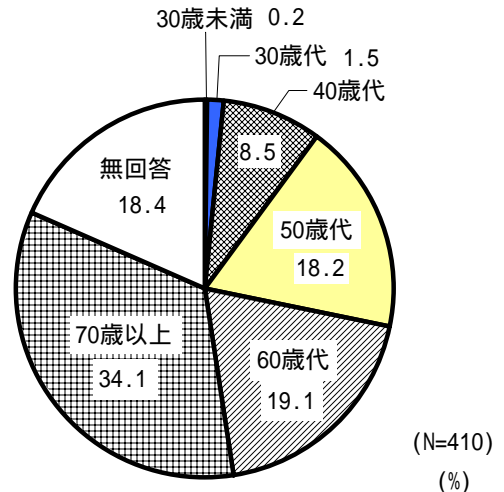


図 4-49 介護者の年代



調査対象者からみた介護者の続柄は、「配偶者」が 35.0%と最も多く、次いで「娘」(20.2%)となっている。

介護者の年代は、「70歳以上」が 34.1%と最も多く、次いで「60歳代」が 19.1%、「50歳代」が 18.2%と、50歳以上が全体の 70%強を占める。

(2) 介護サービスの利用等にかかる意思決定者

図 4-50 介護サービスの利用等にかかる意思決定者

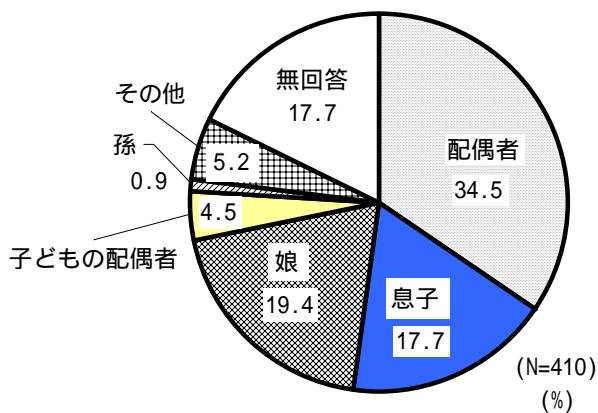
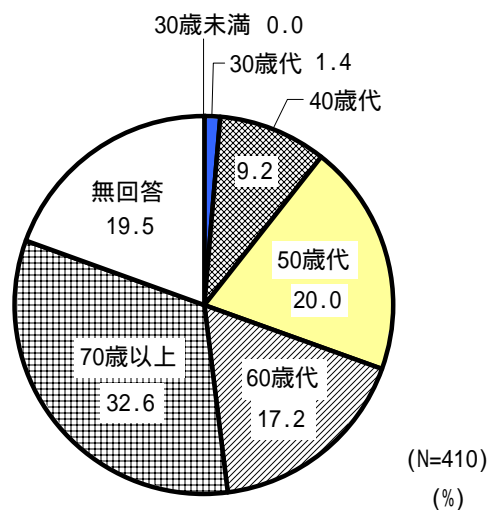


図 4-51 意思決定者の年代

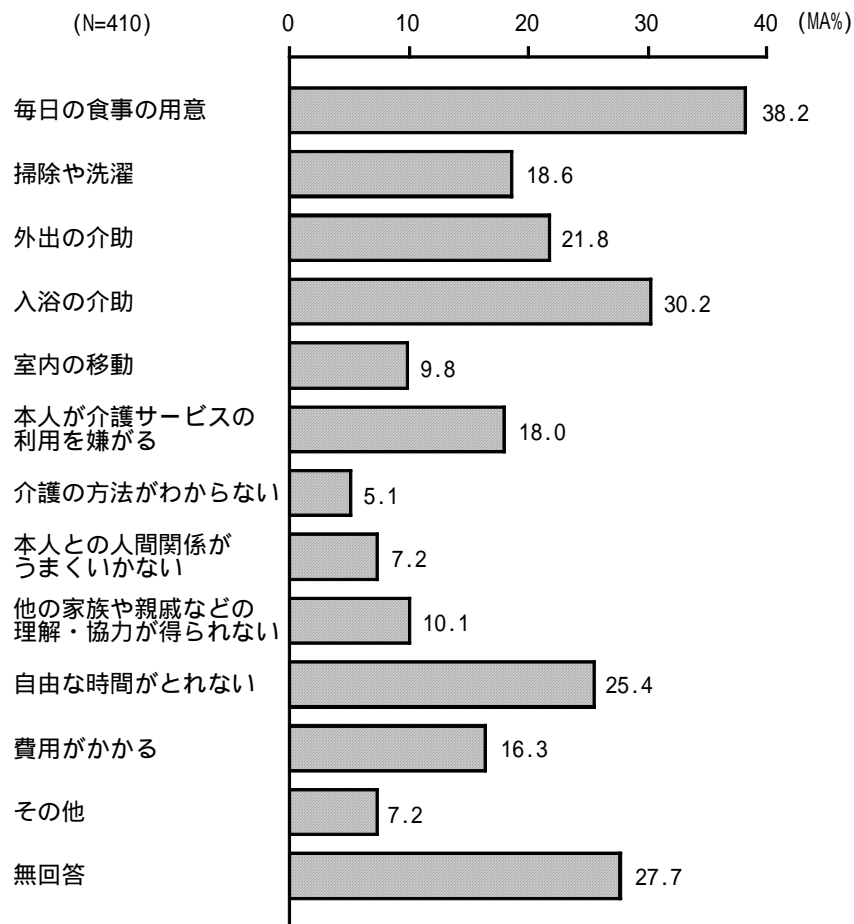


調査対象者がサービス利用する場合などの意思決定に最も関わっている人は、「配偶者」が 34.5%と最も多く、次いで「娘」(19.4%)、「息子」(17.7%)となっている。

この意思決定者の年代は「70歳以上」が 32.6%と最も多く、次いで「50歳代」(20.0%)、「60歳代」(17.2%)と、50歳以上が全体の 70%弱を占める。

(3) 在宅介護の負担について

図 4-52 家庭における介護で負担が大きいと感じること



家庭における介護で負担が大きいと感じる介護内容は、「毎日の食事の用意」が38.2%と最も多く、次いで「入浴の介助」(30.2%)、「自由な時間がとれない」(25.4%)、「外出の介助」(21.8%)となっている。

表 4-25 要介護度別 家庭での介護で負担が大きいと感じること

	調査数 (N)	毎日の食事の用意	掃除や洗濯	外出の介助	入浴の介助	室内の移動	本人が介護サービスの利用を嫌がる	介護の方法がわからない	本人との人間関係がうまくいかない	理解・協力が得られない 他の家族や親戚などの自由な時間がとれない	費用がかかる	その他	無回答	
要支援	83	29.7	17.6	7.7	8.8	2.2	5.5	3.3	6.6	4.4	9.9	7.7	3.3	46.2
要介護1	134	46.3	18.5	24.1	27.8	9.3	16.7	3.7	9.3	11.1	13.0	16.7	5.6	27.8
要介護2	61	32.4	21.6	25.7	28.4	2.7	27.0	4.1	5.4	10.8	25.7	9.5	1.4	27.0
要介護3	38	27.8	12.5	29.2	37.5	12.5	36.1	6.9	8.3	12.5	47.2	16.7	15.3	16.7
要介護4	48	46.1	30.3	27.6	51.3	22.4	21.1	6.6	5.3	13.2	50.0	28.9	14.5	13.2
要介護5	46	37.5	9.7	23.6	50.0	19.4	13.9	11.1	5.6	11.1	45.8	26.4	12.5	19.4
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	410	38.2	18.6	21.8	30.2	9.8	18.0	5.1	7.2	10.1	25.4	16.3	7.2	27.7

要介護度別にみると、「自由な時間がとれない」の割合は、調査対象者の要介護度が高くなるほど増加し、要介護3以上では40%を超えている。「入浴の介助」については、要介護4及び5で50%強に達している。また、「本人が介護サービスの利用を嫌がる」については、要介護3で36.1%と高くなっている。

表 4-26 施設への入所申し込みの有無別 住まいと介護について希望する暮らし方

	調査数 (N)	毎日の食事の用意	掃除や洗濯	外出の介助	入浴の介助	室内の移動	本人が介護サービスの利用を嫌がる	介護の方法がわからない	本人との人間関係がうまくいかない	理解・協力が得られない 他の家族や親戚などの自由な時間がとれない	費用がかかる	その他	無回答	
申し込んでいる	40	33.5	12.9	11.6	33.3	16.9	10.6	4.5	4.5	12.6	37.5	18.8	29.0	18.0
申し込んでいない	292	39.8	22.4	26.4	31.8	10.7	20.4	4.6	6.1	8.7	25.4	15.9	5.1	27.5
無回答	78	34.5	7.4	10.2	22.5	3.0	12.6	7.4	12.7	13.8	19.4	16.8	3.9	33.4
合計	410	38.2	18.6	21.8	30.2	9.8	18.0	5.1	7.2	10.1	25.4	16.3	7.2	27.7

施設への入所申し込みの有無別にみると、入所申込をしていない人は、申込をしている人よりも、「外出の介助」「掃除や洗濯」「本人が介護サービスの利用を嫌がる」などの割合が高くなっている。

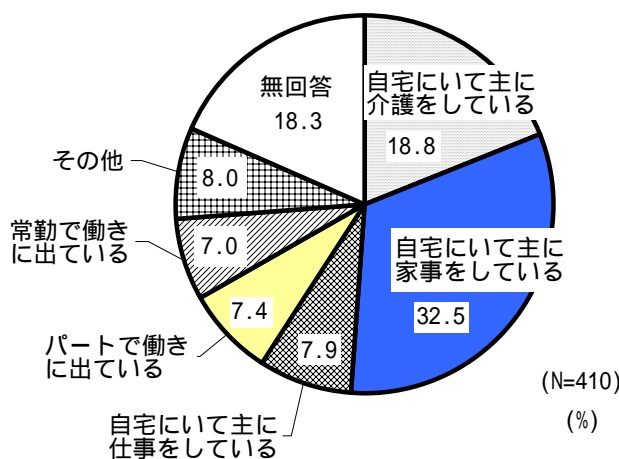
表 4-27 介護者の年代別 家庭での介護で負担が大きいと感じること

	調査数 (N)	毎日の食事の用意	掃除や洗濯	外出の介助	入浴の介助	室内の移動	本人が介護サービスの利用を嫌がる	介護の方法がわからない	本人との人間関係がうまくいかない	他の家族や親戚などへの理解・協力が得られない	自由な時間がとれない	費用がかかる	その他	無回答
30歳未満	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30歳代	6	46.0	19.0	62.6	10.4	-	22.1	-	-	13.5	10.4	-	-	13.5
40歳代	35	38.4	30.5	29.5	39.3	14.8	30.3	10.5	6.7	17.8	26.8	18.6	1.5	7.6
50歳代	75	49.4	17.7	21.1	40.1	13.3	26.8	5.3	7.9	17.1	36.6	17.0	7.1	17.3
60歳代	78	32.8	16.4	28.2	33.9	7.4	24.2	2.3	3.4	10.8	35.9	18.5	16.7	12.9
70歳以上	140	52.3	27.0	23.5	34.7	11.8	14.1	8.3	9.7	5.1	23.9	20.2	6.7	15.4
無回答	75	6.1	1.1	5.1	5.9	4.0	4.1	-	6.6	7.8	7.3	6.6	1.7	86.8
合計	410	38.2	18.6	21.8	30.2	9.8	18.0	5.1	7.2	10.1	25.4	16.3	7.2	27.7

介護者の年代別にみると、「毎日の食事の用意」については、50歳代及び70歳以上の介護者で負担が大きいと感じる割合が高くなっている。「自由な時間がとれない」については、50～60歳代の介護者での割合が相対的に高くなっている。

(4) 介護者の昼間の生活状況

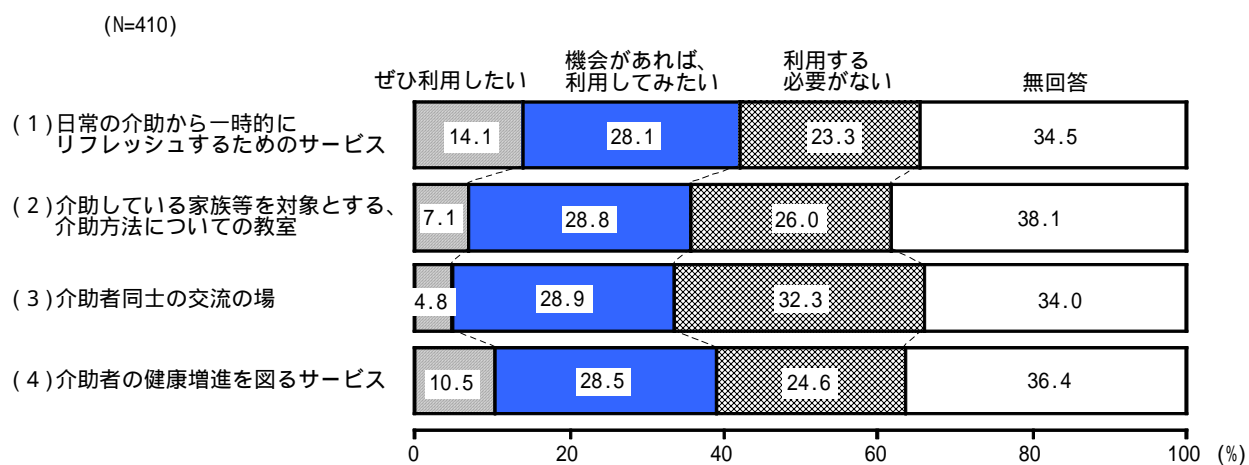
図 4-53 介護者の昼間の生活状況



介護者の昼間の生活状況をみると、「自宅にいて主に家事をしている」が 32.5%と最も多く、次いで「自宅にいて主に介護をしている」(18.8%)となっている。

(5) 介護者支援施策に対する意向

図 4-54 介護者が利用したいサービス



介護者が利用したいと思うサービス（「ぜひ利用したい」に「機会があれば、利用してみたい」を加えた割合）としては、『(1) 日常の介助から一時的にリフレッシュするためのサービス』が 42.2%と最も多く、次いで『(4) 介助者の健康増進を図るサービス』(39.0%) となっている。

7 自由意見

自由意見欄には，99人（記入率 18.4%）から延べ 109 件の回答があった。回答内容の分類と件数は以下のとおりである。

1 介護保険料の負担	8
介護保険料が低所得者の負担にならないようにしてほしい（5段階区分の見直し，減免等）	5
介護保険料が高い，介護保険料を安くしてほしい	3
2 サービス利用料の負担	4
利用料（1割負担）が低所得者の負担にならないようにしてほしい（無料利用，減免等）	4
3 介護保険制度全般	17
家族介護を重視してほしい（精神面や経済面でのサポート等）	6
介護保険に満足している，期待している	4
公正な制度にしてほしい（事業者や利用者間で不正・不平等がないよう調査・監視する等）	3
その他，介護保険制度全般に関する意見	4
4 要介護認定	3
個々のケースをきちんと調査・検討してほしい	3
5 介護保険制度に関する情報公開	3
制度の仕組みや利用方法に関する情報提供を充実してほしい	3
6 ケアプラン・ケアマネジャー	3
ケアマネジャーの負担を軽減してほしい	2
ケアマネジャーの質の向上を図ってほしい	1
7 在宅サービスの充実	13
デイサービスやショートステイ等，在宅サービスの充実・質の向上を図ってほしい	5
ホームヘルパーの業務範囲を広げるなど，利用しやすくしてほしい	5
介護用品に関する意見（介護保険の範囲が狭い，おむつの支給等）	2
その他，在宅サービスの充実に関する意見	1
8 施設サービスの充実	13
介護保険施設を増やしてほしい（特別養護老人ホーム，老人保健施設等）	5
施設の入所待ちの状況を改善してほしい	4
その他，施設サービスの充実に関する意見	4

9 高齢者施策全般	24
規則や手続きを分かりやすくするとともに，相談窓口を作してほしい	6
高齢者の自立支援・健康増進施策に力を入れてほしい	5
高齢者向け住宅施策に力を入れてほしい（公営住宅の整備，住宅改修等）	3
外出・移動支援を充実してほしい（移送サービス，タクシー利用時の補助等）	3
地域福祉の充実を図ってほしい（見守りや訪問，ボランティア育成等）	3
高齢者が安心できるまちづくりを進めてほしい（道路や建物の整備等）	2
その他，高齢者施策全般に関する意見	2

10 その他の意見	21
医療に関する意見	5
介護保険制度をまだ利用していないのでわからない，これから勉強したい	2
その他の意見	14